

青森県報

第九百二十三号

令和七年
六月六日
(金曜日)

目次

告 示

- 障害福祉サービス事業者の指定……………(障 社が 課い) ……一
- 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律による自立支援医療機関の指定……………(同) ……一

公 告

- 県営土地改良事業計画の変更の決定……………(農村整備課) ……一
- 特定漁港漁場整備事業計画の公表……………(漁 港 漁場 整備 課) ……二
- 交通取締用四輪車の購入に係る一般競争入札……………(会計管理課) ……二

告 示

青森県告示第三百三十九号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号）第二十九条第一項の規定により、次のとおり障害福祉サービス事業を行う者を指定したので、同法第五十一条第一号の規定により公示する。

令和七年六月六日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

指定障害福祉サービス事業者		障害福祉サービスを行う所		指 定 年 月 日
名 称	主たる事務所の所在地	名 称	所 在 地	
一般社団法人きやんばす	南津軽郡大鰐町大字鯖石字広田二一の一九	ワークス テーจิらいむ	南津軽郡大鰐町大字鯖石字広田二一の一九	令和七・六・一
就労継続支援B型		障害福祉サービスの種類		

青森県告示第二百四十号

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三号）第五十四条第二項の規定により、自立支援医療機関（精神通院医療）を次のとおり指定したので、同法第六十九条第一号の規定により公示する。

令和七年六月六日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

名 称	所 在 地	指 定 年 月 日
サン調剤薬局ベイブリッジ	青森市沖館四丁目八の二五	令和七・六・一

公 告

県営土地改良事業計画の変更の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第百九十五号）第八十八条第一項の規定により、深味長野地区の県営土地改良事業（経営体育成基盤整備事業（区画整理）（農業用排水施設整備））計画を変更したので、同条第六項において準用する同法第八十七条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画の変更については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が変更されたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の変更の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があったことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならぬこととされている。

令和七年六月六日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和七年六月七日から同月二十六日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

特定漁港漁場整備事業計画の公表

漁港及び漁場の整備等に関する法律（昭和二十五年法律第百三十七号）第十七条第一項の規定により、陸奥湾地区に係る特定漁港漁場整備事業計画を定めたので、同項の規定により公表する。

なお、当該特定漁港漁場整備事業計画は、青森県農林水産部水産局漁港漁場整備課、青森県東青農林水産事務所青森水産事務所及び青森県下北農林水産事務所むつ水産事務所に備え置いて縦覧に供する。

令和七年六月六日

青森県知事 宮 下 宗一郎

交通取締用四輪車の購入に係る一般競争入札

次のとおり一般競争入札により契約を締結するので、地方自治法施行令（昭和二十二年政令第十六号）第百六十七条の六の規定により公告する。

令和七年六月六日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 一般競争入札に付する事項

1 次に掲げる物品（以下「調達物品」という。）の購入とする。

なお、この入札に係る調達は、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成七年政令第三百七十二号）の適用を受ける。

交通取締用四輪車 七台

2 調達物品に要求する性能等は、入札説明書による。

二 納入期限

令和八年三月十三日

三 納入場所

入札説明書による。

四 入札に参加する者に必要な資格

1 地方自治法施行令第百六十七条の四第一項及び第二項に規定する者に該当しない者であること。

2 令和五年六月十二日青森県告示第四百四号（物品等の競争入札参加資格）の一、令和六年二月十三日青森県告示第八十六号（物品等の競争入札参加資格）の一又は令和七年二月十日青森県告示第六十号（物品等の競争入札参加資格）の一のいずれかの規定により入札の日までにAの等級に格付された者であること。

3 物品の製造の請負、買入れ及び借入れに係る契約並びに役務の提供を受ける契約に係る競争入札参加資格者名簿登載業者に関する指名停止要領（平成十二年一月二十一日付け青管第九百十二号。以下「指名停止要領」という。）に基づく知事の指名停止の措置を、一般競争入札参加資格審査申請書の提出期限の日から開札の時までの間に、受けていない者であること。

4 一般競争入札参加資格審査申請書の提出期限の日から開札の時までの間に、指名停止要領別表第九号から第十六号までに掲げる措置要件に該当する事実（既に知事の指名停止の措置が行われたものを除く。）がない者であること。

5 調達物品又はこれと同等の類似品について相当数の納入実績があることを証明した者であること。

6 調達物品について迅速なアフターサービス及びメンテナンスの体制が整備されていることを証明した者であること。

県営深味長野地区土地改良事業計画書

第2回変更

(経営体育成基盤整備事業)

(区 画 整 理)

青 森 県

目

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土地利用の状況	4
3.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
4.	想定被害状況	7
第 4 節	道 路 現 況	9
1.	道 路 概 況	9
2.	主要道路一覧表	9
第 5 節	地域農業の概況	10
1.	産業別就業人口	10
2.	経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数	10
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	10
4.	主要作物作付状況	11
5.	農 業 の 動 向	12
第 6 節	地域環境の概況	12
第 4 章	一 般 計 画	13
第 1 節	事業計画の要旨	13
1.	要 旨	13
2.	事 業 別 面 積	13

次

第 2 節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作 付 方 式	14
4.	生 産 計 画	15
5.	労働改善計画	16
第 3 節	用 水 計 画	17
1.	計 画 基 準 年	17
2.	計画かんがい方式	17
3.	計画用水系統	17
4.	計 画 用 水 量	17
5.	水 源 計 画	19
第 4 節	排 水 計 画	20
1.	計 画 基 準 雨 量	20
2.	計画排水方式	20
3.	計画排水系統	20
4.	計 画 排 水 量	20
5.	排 水 対 策	20
6.	たん水検討	20
第 5 節	道 路 計 画	22
1.	道 路	22
2.	路線配置図	22
第 6 節	洪水調節計画	23
1.	計 画 基 準 雨 量	23
2.	計画洪水量及び調節量	23
3.	貯 水 池	23
4.	洪水調節検討	23
5.	管 理 計 画	23
第 7 節	農用地整備計画	24
1.	区 画 整 理	24
2.	暗 渠 排 水	24

3.	客 土	25	第 6 章	附 帯 工 事 計 画	29
4.	農 地 保 全	25	第 7 章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	29
第 8 節	老 朽 た め 池 改 修 計 画	25	第 8 章	環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	29
1.	洪 水 吐 改 修 計 画	25	第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	30
2.	堤 体 補 強 計 画	25	第 1 節	換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方	30
3.	取 水 施 設 改 修 計 画	25	第 2 節	換 地 区 の 設 定	30
第 5 章	主 要 工 事 計 画	27	1.	換 地 区 の 名 称 ・ 所 在 ・ 面 積	30
第 1 節	用 水 施 設	27	2.	換 地 区 を 設 定 す る 理 由	30
1.	貯 水 池	27	第 3 節	換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針	30
2.	頭 首 工	27	1.	従 前 の 土 地 の 地 積 の 基 準	30
3.	揚 水 機	27	2.	用 途 別 予 定 地 積	31
4.	用 水 路	27	3.	農 用 地 集 団 化 の 方 針	31
第 2 節	排 水 施 設	27	4.	非 農 用 地 換 地 の 方 法	31
1.	排 水 水 門	27	第 4 節	土 地 の 評 価 及 び 清 算 の 方 法	32
2.	排 水 機	27	1.	評 価 の 方 法	32
3.	排 水 路	27	2.	清 算 の 方 法	32
4.	そ の 他 排 水 施 設	27	第 5 節	換 地 計 画 樹 立 の 年 度 計 画	32
第 3 節	道 路	27	第 6 節	換 地 処 分 の 時 期 に 関 す る 特 則	32
1.	道 路 の 総 括 表	27	第 10 章	事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳	33
2.	道 路 主 要 構 造 物	27	第 11 章	効 用	33
第 4 節	洪 水 調 節 施 設	27	第 12 章	関 連 す る 事 業	34
1.	貯 水 池	27	第 13 章	現 況 ・ 計 画 図 面	34
2.	頭 首 工 及 び 導 水 路	27			
第 5 節	農 用 地 整 備 施 設	28			
1.	区 画 整 理	28			
2.	暗 渠 排 水	29			
3.	客 土	29			
4.	除 礫	29			
5.	農 地 保 全	29			
第 6 節	老 朽 た め 池 改 修 施 設	29			
1.	貯 水 池	29			
2.	堤 体 補 強 施 設	29			

第 1 章 目 的

本地区は、北津軽郡板柳町の南東部に位置し、一級河川岩木川水系浅瀬石川を水源とする水田地帯である。

本地区の水田は20 a程度の小区画で、道路幅員は2.5m程度と狭小であるため、大型機械による効率的な営農や通作、農作物等の運搬に苦慮している。また、現況水利施設は用排水兼用の土水路が大半を占めており、安定的な用水供給や維持管理に多大な労力を要している。

このことから、本事業で区画の規模拡大を中心とした農業生産基盤を整備し、水管理の効率化や排水改良に伴う農地の汎用化を図ることで作物の品質や収益性の向上を図り、併せて農地集積の促進を通じた担い手の育成や就農構造の改善により、持続可能で安定的な農業経営の確立を目指すものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
北津軽郡板柳町

第 2 節 地 積

(令和7年2月現在) (第2表)

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
板 柳 町	77.8	0.1	-	-	8.4	86.3	土地登記簿面積 その他は道水路、雑種地及び土地改良 施設用地

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	黒石地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	平成25年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (℃)		19.7	4.0	10.6	
降水量	平均 (mm)	468	587	1,055	
	基準年 (mm)	420	626	1,046	基準年 昭和37年
降水日数	平均 (日)	44	98	142	
	基準年 (日)	60	118	178	基準年 昭和37年
根雪期間		12月18日～3月19日	92 日間		
無霜期間		5月10日～10月11日	155 日間		
最多風向	S	最大風速 (風向)	22 m/s (SW)	最多風向発生時期 10月～5月 最大風速発生年月日 平成28年 4月 17日	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
黒石地域気象観測所																
観測期間 昭和1年～令和5年	数量	年月日	発 生 確 率	数量	年月日	発 生 確 率	数量	年月日	発 生 確 率	数量	年月日	発 生 確 率	数量	年月日	発 生 確 率	
最大日雨量 (mm)	263	S52.08.05	1/889	153	S50.08.05	1/76	136	H25.09.16	1/40	128	S10.08.21	1/30	126	R4.08.09	1/28	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	310	S10.08.21 ～S10.8.26	1/129	285	S34.08.20 ～S34.11.18	1/84	264	S52.08.05 ～S52.8.6	1/57	247	S33.09.11 ～S33.10.4	1/42	226	H14.08.07 ～H14.8.15	1/28	
最大連続干天日数 (日)	44	S3.07.28 ～S3.9.9	1/60	44	S4.07.03 ～S4.8.15	1/60	44	H1.05.03 ～H1.6.15	1/60	43	H12.05.15 ～H12.6.26	1/49	39	S11.05.07 ～S11.6.14	1/27	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
傾 斜 区 分	1/1,000 未 満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 ～ 以上	計	3° 未 満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° ～ 以上	計	最 高	最 低	
面 積 (ha)	-	77.8	-	-	-	77.8	0.1	-	-	-	-	0.1	15.7	13.2	
比 率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0			

(第4表-1-2)

項 目 土壌統 (区) 名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壌 断 面								
	色	腐 植 層	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及びグライ層		
				表 土 層	下 層	土 層			
グライ土壌強粘土構造型	10YR2/1・表土 7.5Y5/2・下層土	含む・表土 含む・下層土	なし	CL	Lic	Lic	全層グライ層又は作土直下グライ層	77.8	E40 田
グライ土壌強粘土構造型	10YR2/1・表土 7.5Y5/2・下層土	含む・表土 含む・下層土	なし	CL	Lic	Lic	全層グライ層又は作土直下グライ層	0.1	E40 畑
計								77.9	

2. 土地利用の状況

(令和7年2月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕地							原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	水田 (ha)	畑										
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)					
板柳町	77.8	0.1	-	-	-	-	0.1	-	-	8.4	86.3	土地登記簿面積 その他は道水路、雑種地及び土地改良施設用地

3. 土地所有の状況

(令和7年2月現在) (第4表-3)

区分	所有別	個人有	共有	法人有	国有	県有	市町村有	計	
面積 (ha)		77.9	0.0	0.1	-	-	8.3	86.3	
受益者数 (人)		82	(1) 1	-	-	-	-	82	() の数は、個人有と重複
筆数 (筆)		394	1	15	-	-	98	508	

第3節 水利状況

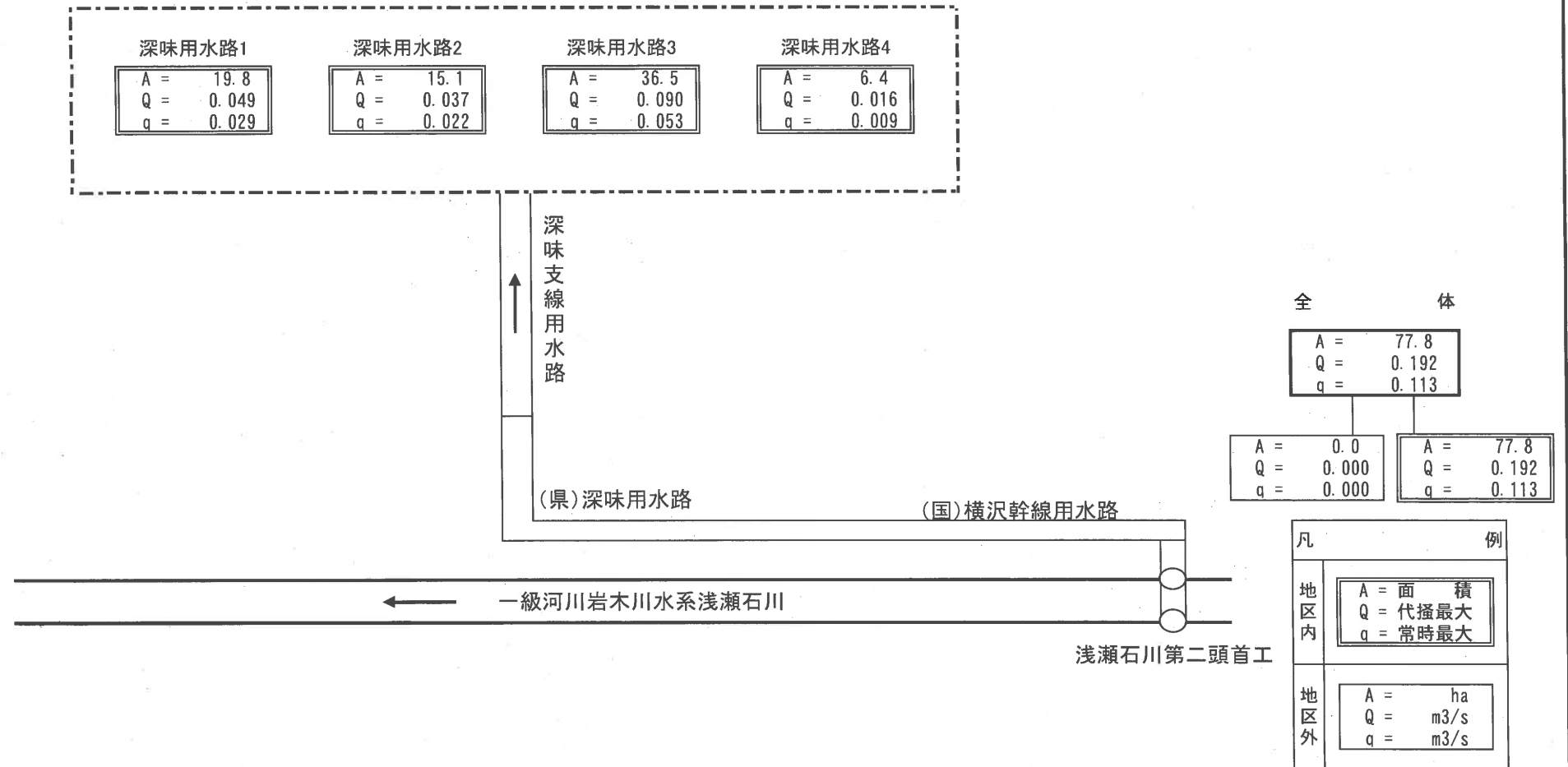
1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川岩木川水系浅瀬石川を取水源とする浅瀬石川第二頭首工から取水している。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 (P.5 参照)

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量	備 考
	500ha 以上		500～100ha		100ha 未満									
	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
貯 水 池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
井 堰	—	—	—	—	1	77.8	1	77.8	1	(2.076)	—	—	(2.076)	浅瀬石川第二頭首工 H24.4.25更新
自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	1	77.8	1	77.8	1	(2.076)			(2.076)	() は地区外含む

(イ) 改修を要する施設一覧表 該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(イ) その他の被害状況 該当なし

2. 排水状況

本地区の排水は、地区内の排水路から国営及び県営の排水路を通り相原排水機場と相原第二排水機場により、一級河川岩木川水系十川へ機械排水されている。

(1) 排水系統
現況排水系統模式図 (P. 8 参照)

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名		項目	排水面積						計		排水慣行 (m^3/s)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
			500ha 以上		500 ~ 100ha		100ha 未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
自然	排水路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	水門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
機械	排水機	—	—	—	—	1	86.3 (97.6)	1	86.3 (97.6)	—	0.841 (0.937)		
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
計		—	—	—	—	1	86.3 (97.6)	1	86.3 (97.6)	—	0.841 (0.937)	()は 地区外含む	

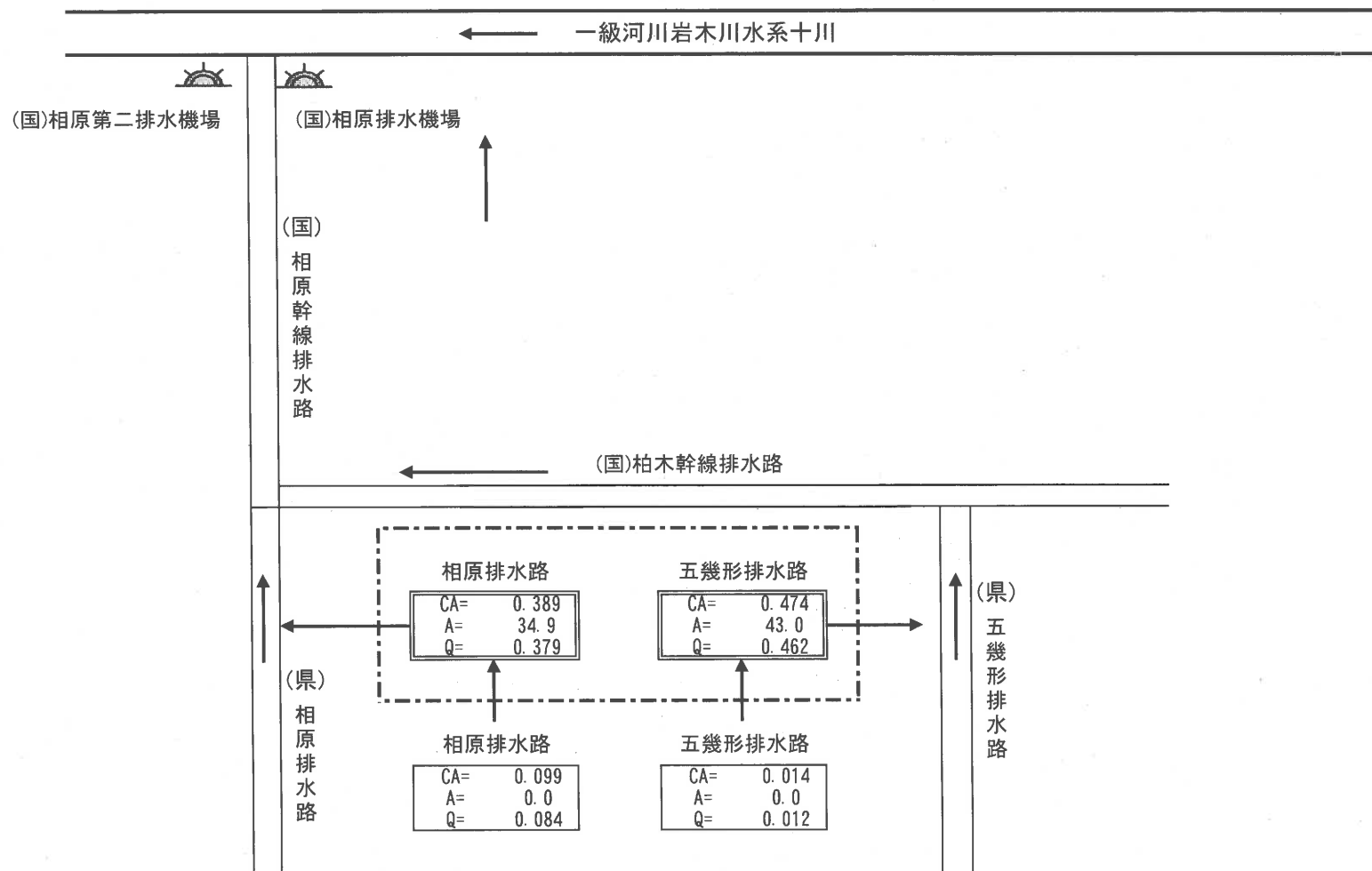
(イ) 改修を要する施設の一覧表 該当なし

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況 該当なし

4. 想定被害状況 該当なし

現況排水系統模式図



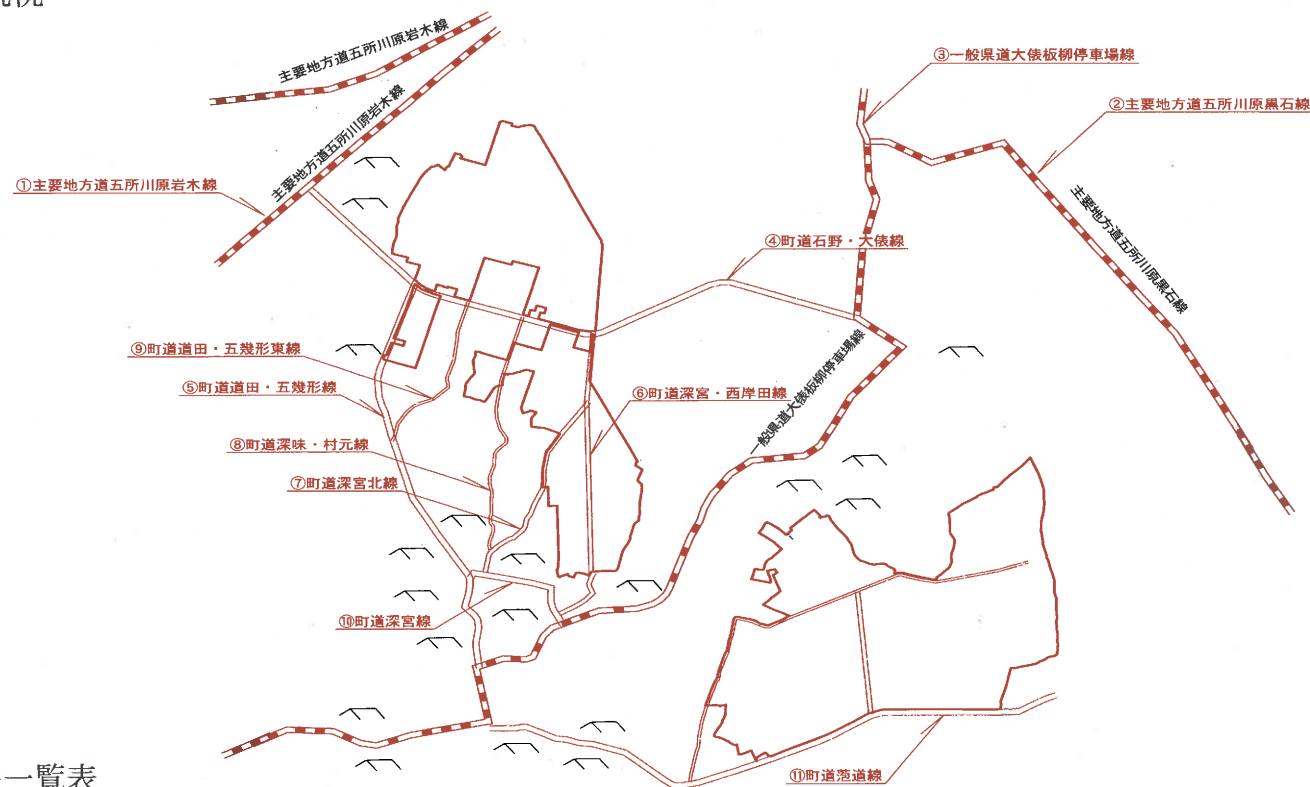
系	統	名
CA=	流域面積 (km ²)	
A=	支配面積 (ha)	
Q=	排水量 1/10 (m ³ /s)	

全体
CA= 0.863 (0.976)
A= 77.9
Q= 0.841 (0.937)

()地区外を含む

第 4 節 道路現況

1. 道路概況



2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路線名	管 区 分 別	延 長 (m)	幅員 (m)		構 造	改修の 要否	備考
				全 幅	有効幅員			
①	主要地方道五所川原岩木線	県	26,400	9.0	6.0	アスファルト舗装	否	
②	主要地方道五所川原黒石線	県	22,400	7.5	6.0	アスファルト舗装	否	
③	一般県道大俵板柳停車場線	県	4,000	8.1	6.0	アスファルト舗装	否	
④	町道石野・大俵線	町	1,665.44	7.0	5.5	アスファルト舗装	否	
⑤	町道道田・五幾形線	町	1,269.90	6.5	5.0	アスファルト舗装	否	
⑥	町道深宮・西岸田線	町	903.03	5.5	4.0	アスファルト舗装	否	
⑦	町道深宮北線	町	608.55	5.0	4.0	アスファルト舗装	否	
⑧	町道深味・村元線	町	740.77	2.5	2.0	砂利舗装	否	
⑨	町道道田・五幾形東線	町	1,044.89	2.5	2.0	砂利舗装	否	
⑩	町道深宮線	町	358.21	6.0	5.0	アスファルト舗装	否	
⑪	町道菰道線	町	1,452.95	7.0	5.5	アスファルト舗装	否	

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

総務省統計局＞統計データ＞令和2年度国勢調査

(第7表-1)

項 目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運 輸 通信業	卸売小売 業・飲食店	金 融 保険業	不動産業	サービ ス業	公 務	その他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
板 柳 町	7,156	2,644	4	1	2	529	586	18	242	1,131	74	38	1,632	214	41	
比率 (%)	100.0	36.9	0.1	0.0	0.0	7.4	8.2	0.3	3.4	15.8	1.0	0.5	22.8	3.0	0.6	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

2020農林業センサスⅡ農業経営体3経営耕地面積規模別経営体数

2020農林業センサス自給的・V総農家等2耕地(1)経営耕地のある農家数と経営耕地面積

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)												1戸当たり平均農用地面積 (ha)						専兼業別農家数 (戸)			備 考
		例外規定の 適用を受け るもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	専 業	兼 業			
																				第 一 種	第 二 種		
板柳町	1,108	39	108	242	221	174	157	74	25	11	13	44	0.97	0.05	0.94	1.96	0.00	1.96	570	406	370	販売農家 1346戸	
比率 (%)	100.0	3.5	9.7	21.8	19.9	15.7	14.2	6.7	2.3	1.0	1.2	4.0	49.5	2.6	48.0	100.0	0.0	100.0	42.3	30.2	27.5		

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2020年世界農林業センサスⅡ農業経営体

(第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具 主 要 家 畜												備 考
	トラクター		コンバイン		動力田植機								
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	
板 柳 町	716	636	106	99	377	365	-	-	-	-	-	-	
100戸当たり数量(台、頭)	65		10		34		-		/		/		
利用戸数割合 (%)	57.4		8.9		32.9		-		/		/		

4. 主要作物作付状況

①農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データその他>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県②作物は農林水産省HPより作付面積の多いものを記載。

(第7表-4)

市町村名			板柳町		作付率	備考
総耕地面積 (ha)			3,020			
区分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
作物名						
水田	表作	水稲	1,060	612	69.3	本地面積全体 2,970 ha
	裏作		-	-	-	
	小計		1,060		69.3	
畑	春	大豆	204	93	14.2	田 1,530 ha
		その他作物	1,706	-	118.5	
	夏		-	-	-	畑 1,440 ha
			-	-	-	
			-	-	-	
			-	-	-	
	秋冬作		-	-	-	(畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
			-	-	-	
			-	-	-	
	小計		1,910		132.6	
果樹園	その他果樹		-	-	-	
			-	-	-	
	小計		-		-	
計			2,970		100.0	
市町村別延作付率 (%)			100.0			

5. 農業の動向

2020年世界農林業センサス II 農業経営体、V販売農家、H22・H27・R2農産物統計

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	88	70	耕地	95	86	水 稻	89	69	乳用牛			トラクター	84	0	農業振興地域 昭和49年	A：令和2年 (2020年世界農林業センサス) B：平成27年 (2015年世界農林業センサス) C：平成22年 (2010年世界農林業センサス)
	専業農家数	93	0	田	95	87	小 麦			肉用牛			コンバイン	71	0		
	第一種兼業農家数	95	0	畑	55	170	大 豆	114	166	豚			動力田植機	79	0		
	第二種兼業農家数	76	0	樹園地	95	83	その他作物	106	117								
	農業従事者数	86	66	草 地													
理 変 化 の 由	農家数及び農業従事者の減少は他産業への流出による。			耕地の減少は農地転用等による。			水稻の減少は転作奨励による。						農作業の効率向上を図るため機械の大型化及び共同利用が進んでいる。				

第6節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

ほ場の大区画化、農業用排水路、農道等の農業生産基盤整備を行うことにより、農作業の効率化、生産コストの低減、維持管理費の節減及び高収益作物の導入を図り、これと併せて担い手への農地集積を促進することで、農業競争力の強化を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用 区分 事業目的	水 田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通 畑 (ha)	果樹 園 (ha)	牧草 畑 (ha)	茶 園 (ha)	その 他 (ha)		
区画整理	74.7	0.2	—	—	—	—	74.9	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業によるほ場の大区画化や排水路整備等の農業生産基盤整備と併せ、地域の担い手農家への農地利用集積に取り組むことで、高効率で生産性の高い水田農業の展開を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用 区分	水田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	77.8	0.1	—	—	—	—	77.9	—	—	8.4	86.3	その他は道水路、雑種地及び土地改良施設用地
計 画	74.7	0.2	—	—	—	—	74.9	—	—	11.4	86.3	その他は道水路、雑種地及び土地改良施設用地

3. 作付方式

(第9表-2)

項 目	經 營 類 型	土 地 利 用 区 分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
現 況	水 稻 + 野 菜	田																																					
計 画	水 稻 + 野 菜	田																																					

4. 生産計画

(第9表-3)

土地 利用 区分		項 目	作 物 名	作 付 面 積			作 付 率		単位面積当たり収量			生 産 量			同左生産量増減の内訳		備 考	
				(ha)			(%)		(kg/10a)			(t)			(t)			
				現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単 位 面 積 当 た り 収 量 増 加		
水 田	表作	水 稲	45.7	42.5	△3.2	59.7%	57.2%	614	614	0	281	261	△ 20	△ 3.2	△20	作付増減		
			-	(42.5)	-	-	-	614	651	37	281	277	△ 4	-	△4	乾田化Ⅰ		
			-	(42.5)	-	-	-	614	626	12	281	266	△ 15	-	△15	水管理改良		
		備 蓄 米	25.0	23.2	△1.8	32.6%	31.3%	614	614	0	154	142	△ 12	△ 1.8	-	作付増減		
			-	(23.2)	-	-	-	614	651	37	154	151	△ 3	-	△3	乾田化Ⅰ		
			-	(23.2)	-	-	-	614	626	12	154	145	△ 9	-	△9	水管理改良		
		飼 料 用 米	1.0	0.0	△1.0	1.3%	0.0%	614	614	0	6	0	△ 6	△ 1.0	1	作付増減		
			-	(0.0)	-	-	-	614	651	37	6	0	△ 6	-	△6	乾田化Ⅰ		
			-	(0.0)	-	-	-	614	626	12	6	0	△ 6	-	△6	水管理改良		
		に ん に く	4.4	8.0	3.6	5.7%	10.8%	694	985	291	31	79	48	3.6	-	作付増減		
			-	(8.0)	-	-	-	694	985	291	31	79	48	-	48	乾畑化		
		普 通 畑	春夏作	え だ ま め	0.5	0.5	-	0.7%	0.7%	156	156	0	1	1	-	0.0	1	作付増減
					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			秋冬作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
果 樹 園		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
牧 草 地		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
茶 園		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
そ の 他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合 計		計	76.6	74.2	△2.4	100.0%	100.0%									面積は本地面積		

5. 労働改善計画

(第9表-4)

項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備 考
			区 分	現 況	計 画	増 減	
水 田	水 稲	32.1	人 力	28.7	16.6	△12.1	営農規模 1.0ha未満 → 担い手営農 (集積 乾田)
			機 械 力	8.5	5.2	△3.3	
	水 稲	10.4	人 力	28.7	16.5	△12.2	営農規模 1.0ha未満 → 個人営農 (乾田)
			機 械 力	8.5	5.6	△2.9	
	計	42.5					
	備 蓄 米	17.5	人 力	28.7	16.6	△12.1	営農規模 1.0ha未満 → 担い手営農 (集積 乾田)
			機 械 力	8.5	5.2	△3.3	
	備 蓄 米	5.7	人 力	28.7	16.5	△12.2	営農規模 1.0ha未満 → 個人営農 (乾田)
			機 械 力	8.5	5.6	△2.9	
	計	23.2					
	に ん に く	8.0	人 力	199.7	115.0	△ 84.7	営農規模 0.5ha → 営農規模 0.7ha
			機 械 力	18.5	26.3	7.8	
	計	8.0					
合	計	73.7					面積は本地面積

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年 昭和37年

2. 計画かんがい方式

水 田 水 稲 湛水かんがい方式 かんがい期間 5月6日 ～ 9月1日 (代かき期間 5月6日 ～ 5月20日)

畑作物 うね間かんがい方式 かんがい期間 5月6日 ～ 9月1日

3. 計画用水系統 計画用水系統模式図 (P. 18 参照)

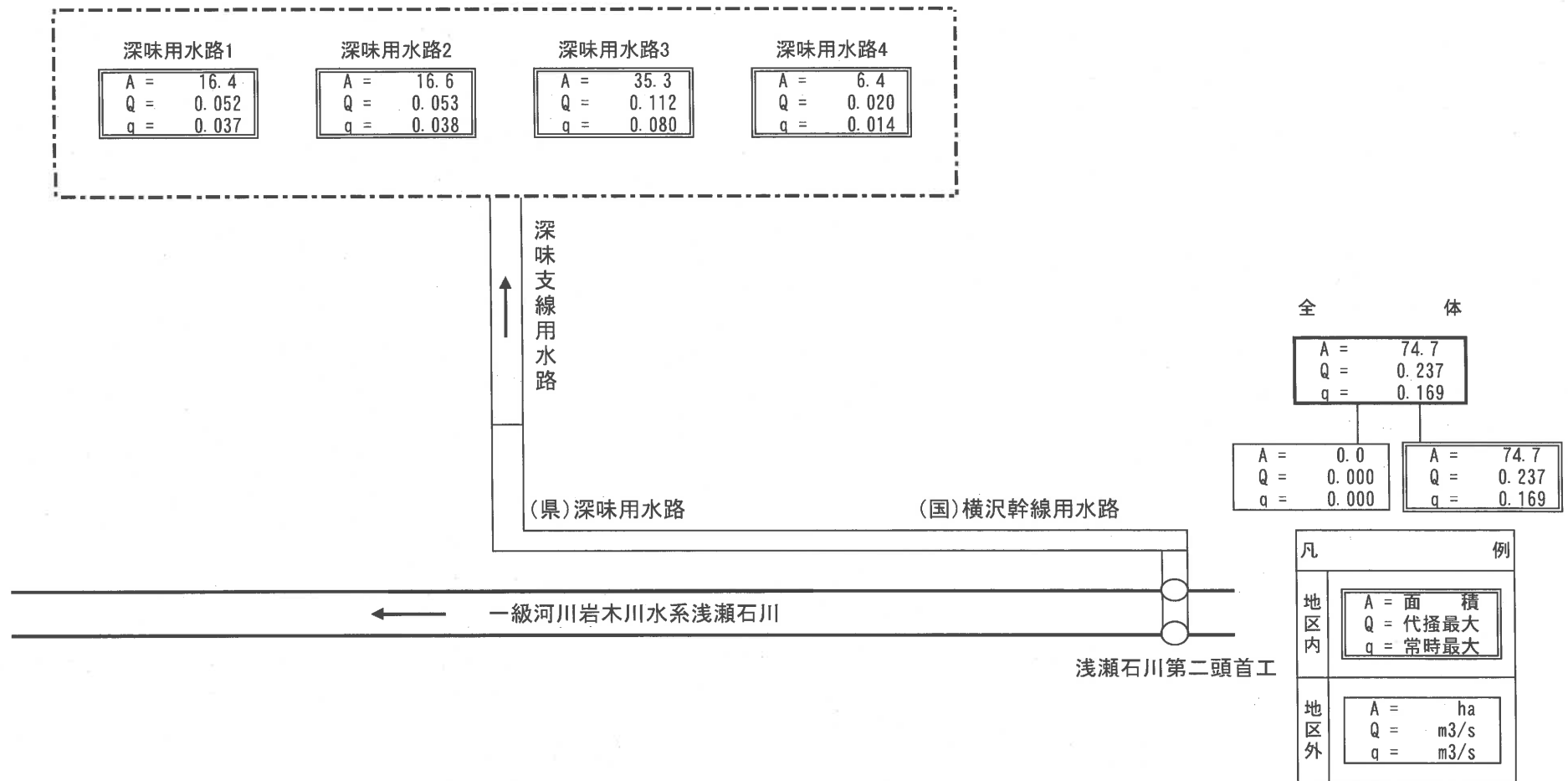
4. 計画用水量
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系統名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい		面 積 (ha)	水 田 畑 利 用		畑 地 かん がい			そ の 他			消 費 水 量 (m³/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考	
			普通期	代かき期		面 積 (ha)	平均かん水 一日当たり計画 水深 (mm/日)	平均間断日 数 (日)	面 積 (ha)	一日当たり計画 かん水 水深 (mm/日)	平均間断日 数 (日)	面 積 (ha)	計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)			面 積 (ha)	平 均		最 大
			計 画 平 均 単 位 用 水 量 (mm/日)	計 画 代 か き 単 位 用 水 量 (mm/日)															
深味用水 1	農業用水	16.4	16.6	140	14.9	5	5	1.5	5	5	—	—	—	代 普 0.051 0.036	15	0.037	0.052	地区内のみ	
深味用水 2	農業用水	16.6	16.6	140	15.1	5	5	1.5	5	5	—	—	—	代 普 0.052 0.037	15	0.039	0.054	地区内のみ	
深味用水 3	農業用水	35.3	16.6	140	32.2	5	5	3.1	5	5	—	—	—	代 普 0.111 0.078	15	0.081	0.114	地区内のみ	
深味用水 4	農業用水	6.4	16.6	140	5.8	5	5	0.6	5	5	—	—	—	代 普 0.020 0.014	15	0.015	0.021	地区内のみ	
計		74.7			68.0			6.7			—		—						

(2) 営農飲雑用水 該当なし

計画用水系統模式図



5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現 況 利 用 可 能 水 量			不足水量		水源依存量		水源工種	備 考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		
	a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率 α
既水田補水	1,314	-	1,314	1,546	浅瀬石川	1,546	1,314	-	-	-	-	頭首工	α=15%

(2) 用水対策

(ア) 貯 水 池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚 水 機 該当なし

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

名 称	項 目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
支 線 用 水 路		2.2~27.9	0.116	1,650	コンクリート直壁型	
小 用 水 路		0.1~16.4	0.093	9,194	コンクリート直壁型	かんがい面積及び最大通水量は支線用水路に含まれる
計		74.7		10,844		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質 該当なし

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量 日雨量 99.5mm (1/10確率雨量)
2. 計画排水方式 排水方式：機械排水 許容湛水：なし
3. 計画排水系統 計画排水系統模式図 (P. 21 参照)
4. 計画排水量

(第 1 1 表 - 1)

項 目	受 面 益 積 (ha)	流 域 面 積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による直接単 位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全 排 水 量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備 考
									山 地	平 地		単位排水量		
		山 地	平 地		山 地	平 地	山 地	平 地		山 地	平 地			
排水系統名														
相原排水路	33.1	-	0.483	99.5	-	0.944	-	-	-	-	0.456	-	0.944	
五幾形排水路	41.8	-	0.493	99.5	-	0.968	-	-	-	-	0.477	-	0.968	
計	74.9	-	0.976						-	0.000	0.933			

5. 排水対策

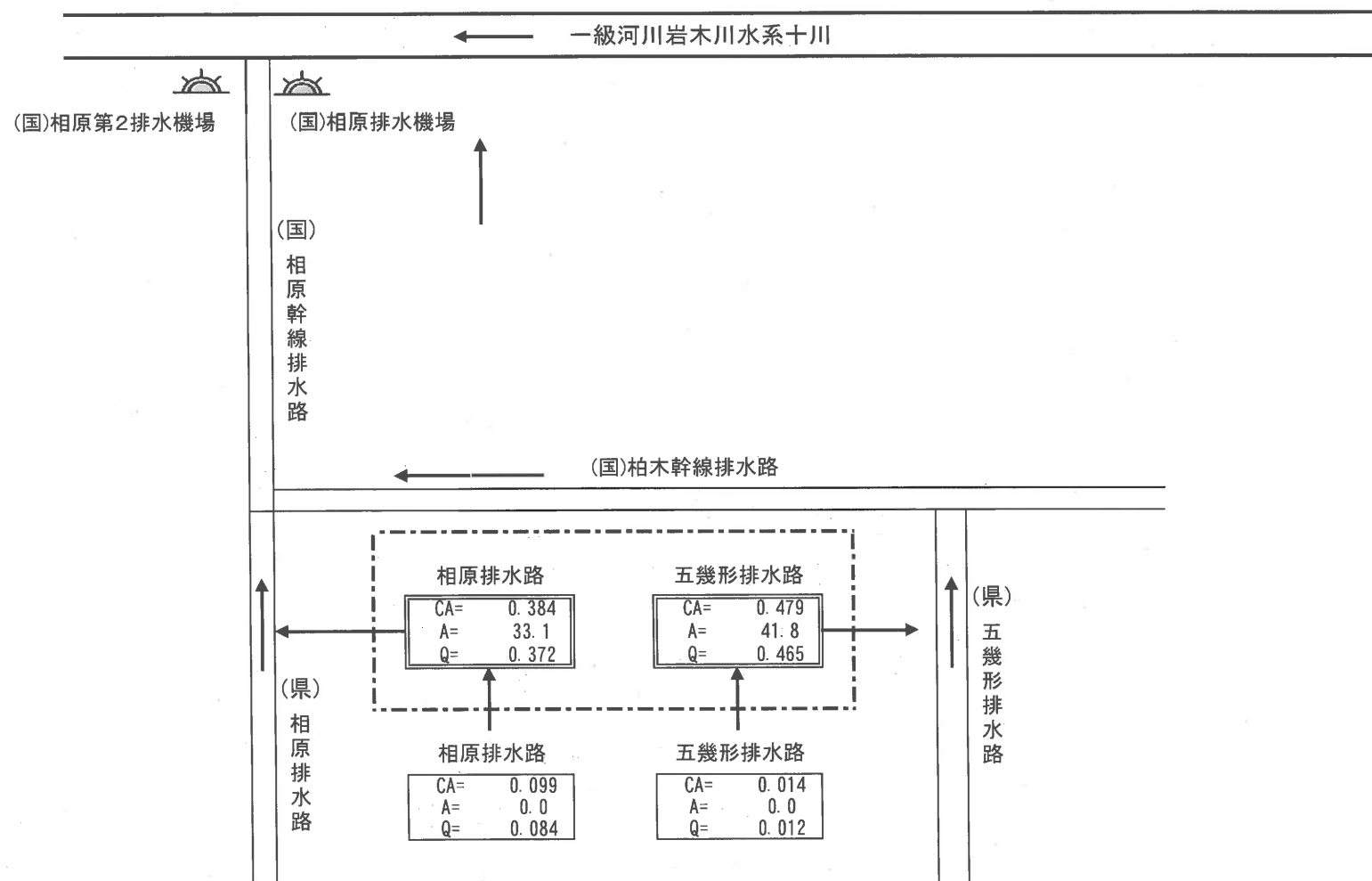
- (1) 排水水門 該当なし
- (2) 排水機 該当なし
- (3) 排水路

(第 1 1 表 - 4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備考
						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
支 線 排 水 路	0.128~ 0.391	8.7~32.6	0.124~0.377	1,430	コンクリート直壁型	-	-	-	
小 排 水 路	0.006~ 0.216	0.3~13.7	0.006~0.257	5,331	コンクリート直壁型	-	-	-	
計	0.976	74.9		6,761					

- (4) その他 該当なし
6. たん水検討 該当なし

計画排水系統模式図



系	統	名
CA=	流域面積 (km2)	
A=	支配面積 (ha)	
Q=	排水量 1/10 (m3/s)	

全	体
CA=	0.863 (0.976)
A=	74.9
Q=	0.837 (0.933)

()地区外を含む

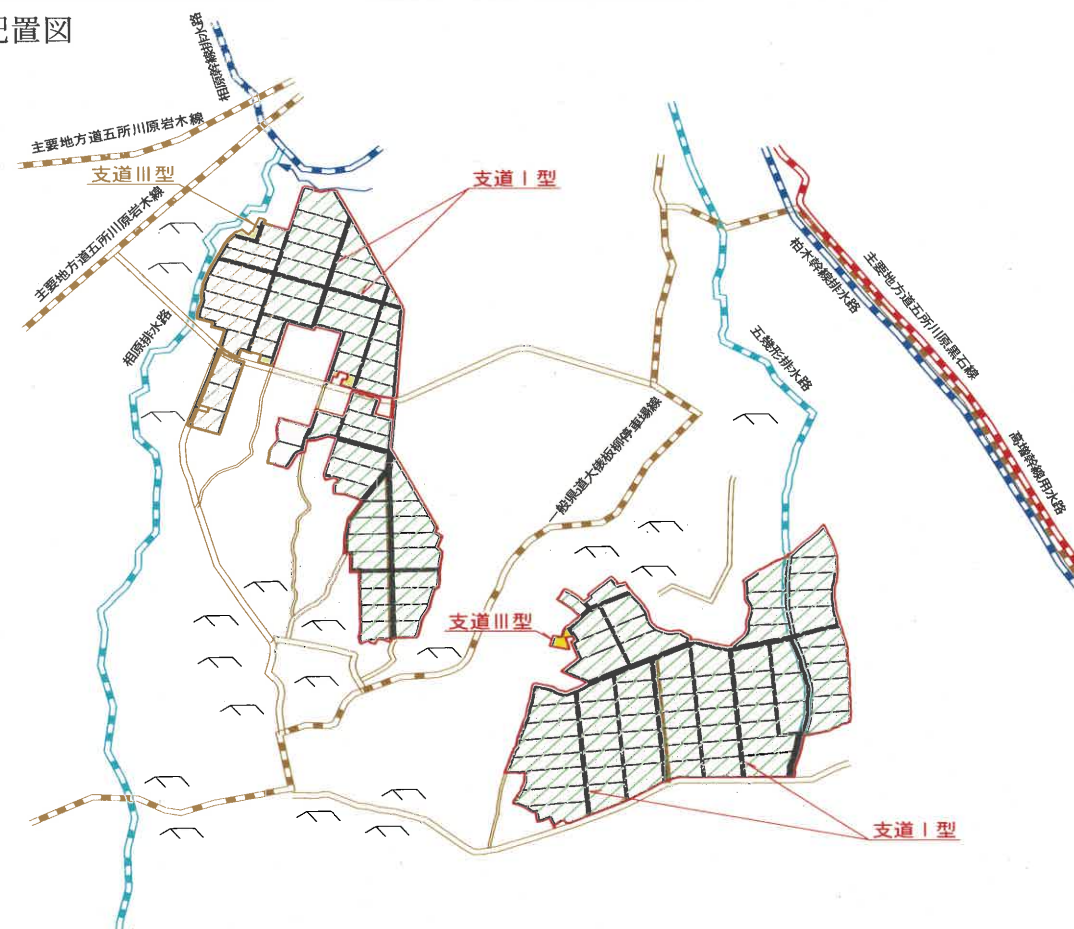
第 5 節 道路計画

1. 道 路

(第12表)

項 目 路 線 名	幅 (有効) (m)	延 長 (m)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考
支線道路Ⅰ型	5.0 (4.0)	6,407	碎石舗装 (敷砂利厚 $t=15\text{cm}$)		
支線道路Ⅲ型	3.0 (2.0)	70	碎石舗装 (敷砂利厚 $t=15\text{cm}$)		
計		6,477			

2. 路線配置図



凡	例
—	集 落
—	道
—	県 道
—	町 道
—	幹線用水路 (国)
—	幹線排水路 (国)
—	排水路 (県)
—	一 定 地 域
—	支 線 道 路
—	小 用 水 路
—	小 排 水 路
—	暗渠排水区域
—	水 田
—	畑

第 6 節 洪水調節計画

- | | |
|---------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | 該当なし |

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第14表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
標準区 100×100	100 以上	13.4	17.9	0.5 以下	
標準区 100×50	50 以上	48.6	64.9	0.5 以下	
標準区以下	50 未満	12.9	17.2	0.5 以下	畑を含む
計		74.9	100.0		

(2) 表土扱い

(第14表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
74.9	本地区は表土が少なく、表土扱いをしない整地工事では、作物生産に支障を来すため、表土扱いを行う。	15	112,350	

(3) 末端道水路配置図

末端道水路配置図 (P. 26 参照)

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第14表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の地下水位 (m)	集水渠出口 以下の排水方法	備考
本暗渠	73.5	グライ土壌強粘土構造型	50	5.79	0.50	自然排水	地表残留水(50mm)排除の目標日数 1日

(2) 心土破碎 該当なし

3. 客 土 該当なし

4. 農地保全 該当なし

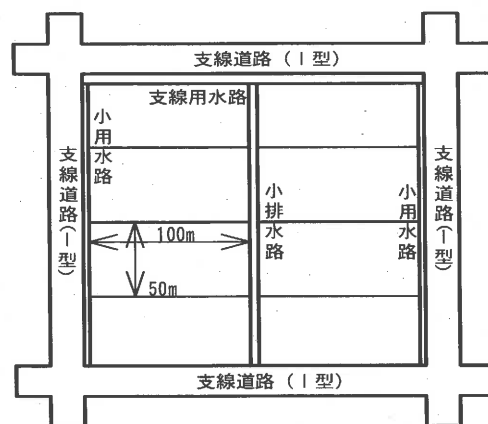
第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画 該当なし

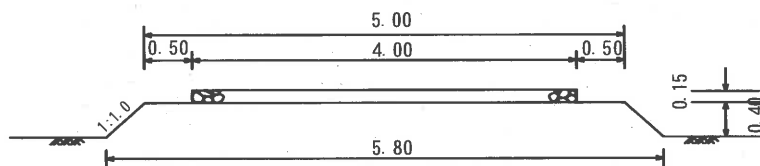
2. 堤体補強計画 該当なし

3. 取水施設改修計画 該当なし

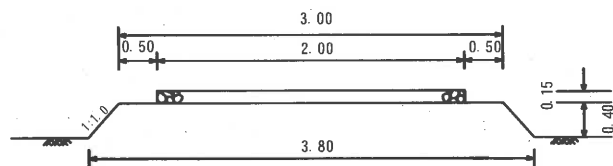
標準区画割図



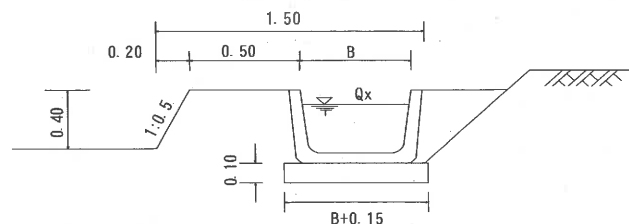
支線道路 (I型)



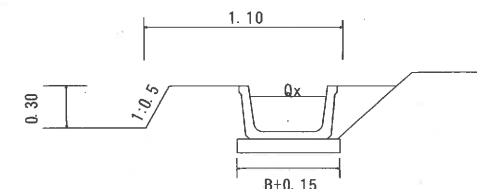
支線道路 (III型)



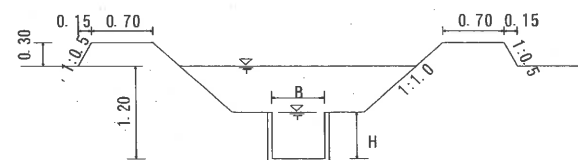
支線用水路



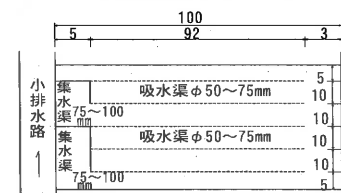
小用水路



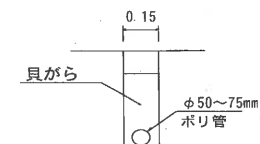
支線・小排水路



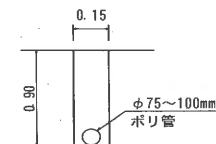
暗渠排水工



吸水渠



集水渠



第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

- | | |
|----------|------|
| 1. 貯 水 池 | 該当なし |
| 2. 頭 首 工 | 該当なし |
| 3. 揚 水 機 | 該当なし |
| 4. 用 水 路 | 該当なし |

第 2 節 排水施設

- | | |
|------------|------|
| 1. 排水水門 | 該当なし |
| 2. 排 水 機 | 該当なし |
| 3. 排 水 路 | 該当なし |
| 4. その他排水施設 | 該当なし |

第 3 節 道 路

- | | |
|------------|------|
| 1. 道路の総括表 | 該当なし |
| 2. 道路主要構造物 | 該当なし |

第 4 節 洪水調節施設

- | | |
|-------------|------|
| 1. 貯 水 池 | 該当なし |
| 2. 頭首工及び導水路 | 該当なし |

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(第 19 表 - 1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 区 画	工 表 土 扱 い 土量 (m ³)	面積 (ha)	土量 (m ³)	備 考
標準区 100×100	13.4	1.0ha以上	-	13.4	20,100	
標準区 100×50	48.6	0.5ha以上	-	48.6	72,900	
標準区以下	12.9	0.5ha未満	-	12.9	19,350	畑を含む
計	74.9		-	74.9	112,350	

(附帯工：用水路等)

区 分	項 目	数	量	規 模	構 造	備 考
	支線用水路		L=1,650m	BF550~BF900	コンクリート直壁型	
	小用水路		L=9,194m	BF400~BF700	コンクリート直壁型	
	計		L=10,844m			

(附帯工：排水路等)

区 分	項 目	数	量	規 模	構 造	備 考
	支線排水路		L=1,430m	排水溝H500×B400 ~H800×B600	コンクリート直壁型	
	小排水路		L=5,331m	排水溝H400×B400 ~H600×B600	コンクリート直壁型	
	計		L=6,761m			

(附帯工：道路等)

区 分	項 目	数	量	規 模	構 造	備 考
	支線道路Ⅰ型		L=6,407m	幅員5.0m (4.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	
	支線道路Ⅲ型		L=70m	幅員3.0m (2.0m)	砂利舗装 (敷砂利厚 t=15cm)	
	計		L=6,477m			

(附帯工：暗渠排水等)

区 分	項 目	数	量	規 模	構 造	備 考
	本暗渠		A=73.5ha	吸水管φ50~75mm 集水管φ75~100mm	硬質ポリ管	

- | | |
|---------|------|
| 2. 暗渠排水 | 該当なし |
| 3. 客 土 | 該当なし |
| 4. 除 礫 | 該当なし |
| 5. 農地保全 | 該当なし |

第 6 節 老朽ため池改修施設

- | | |
|-----------|------|
| 1. 貯 水 池 | 該当なし |
| 2. 堤体補強施設 | 該当なし |

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手	令和 2 年度
完了予定	令和 9 年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。水路内に転落した小動物等が脱出できる環境配慮型水路を設置する。仮設水路を設置しながら水路整備を進めるほか、流末に水槽等を設置して土砂を沈殿させることで濁水の流出を防止する。暗渠排水の被覆材として県産のホタテ貝殻を使用し、地域資源の有効活用を図る。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家への配分は、換地選定を機会に利用権等の集積に関する啓発普及を進め、中核的担い手農家への農地の利用集積を図るものとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積

(第 2 1 表 - 1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全工区	北津軽郡板柳町大字横沢、大字深味、大字長野、大字三千石	86.3

2. 換地区を設定する理由 該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第 2 1 表 - 2)

換地区名	換地の基準
全工区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿面積（国土調査法による地籍調査に基づく登記簿面積）とする。ただし、上記の日から 3 か月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第21表-3)

用 途 (取得予定者) 換地区名		非 農 用 地 区 域 外 に 換 地 す る 土 地											非 農 用 地 区 域 に 換 地 す る 土 地											機能交換に係る土地				一 般 国 公 有 地	総 合 計	
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行地域の含める土地(令第1条の9()書き)			本事業による土地改良施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創 設 農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生活・上・営 業 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 施 設 用 地	宅 地 等	小 計	合 計	国	県	市 町 村 他	合 計			
						土地改良施設	そ の 他	小 計	改 良 区	そ の 他	小 計			宅 地	そ の 他	小 計														
全 工 区	従前の土地	77.8	0.1	-	-	0.1	-	0.1	-	-	-	-	78.0	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3	-	86.3
	換 地	74.7	0.2	-	-	0.1	-	0.1	3.0	-	3.0	-	78.0	-	0.0	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	8.3	-	86.3

3. 農用地集団化の方針

(第21表-4)

区分 換地区名	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別 位置の選択方法	換地の 1戸当たり目標団地数	換地の 区画畦畔の取扱
全工区	なし	換地は各人の土地が最も密集した位置を中心に定める。	概ね1~2団地	固定畦畔

4. 非農用地換地の手法

(第21表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全工区	雑種地	北津軽郡板柳町大字深味字西田	100	特定用途用地換地	従前の土地所有者	

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 項目別配点方式

土地の良否、用排水の便否の項目別の条件差により設定した評価表を用い、従前の土地と換地を一筆毎に採点する。この合計得点数からその土地を等位付けし、その等位毎に価額を評定する。

2. 清算の方法 比例地積清算方式

従前の土地の評価総額と換地の価額総額との差額(増価額)を従前の土地の地積に比例して、各従前の土地に按分し、この按分額を従前の土地の価額と合計して換地交付基準額を定め、これと換地の価額との差額を徴収、交付する。

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第21表－6)

換地区名	区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
全 工 区		令和3年度～令和4年度	令和7年度	令和7年度	

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

本地区は、地区全体について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定に基づき、換地処分を行う。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 22 表)

区 分		事業費 (千円)	備 考
工事費		1,714,000	令和6年度単価
事務的経費		85,700	
計		1,799,700	
関連事業 (参考)	工事費	450,000	県営深味長野地区経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）
	事務的経費	22,500	
	計	472,500	

第 11 章 効 用

(第 23 表)

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
作物生産効果	31,266	38,277	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	75,498	75,498	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	△ 2,688	1,329	食料の安定供給の確保に関する効果
耕作放棄防止効果	23	—	農業の持続的発展に関する効果
国産農産物安定供給効果	3,385	—	その他の効果
計	107,484	115,104	令和6年度単価

<参考>

総 費 用 : 2,216,037 千円
 総 便 益 額 : 2,311,593 千円
 総費用総便益比 : 1.04

第 12 章 関連する事業

(第 24 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異種	県営経営体育成基盤整備事業 (農業用排水施設整備)	青森県	74.7	支線用水路工 L=2,800m

第 13 章 現況・計画図面

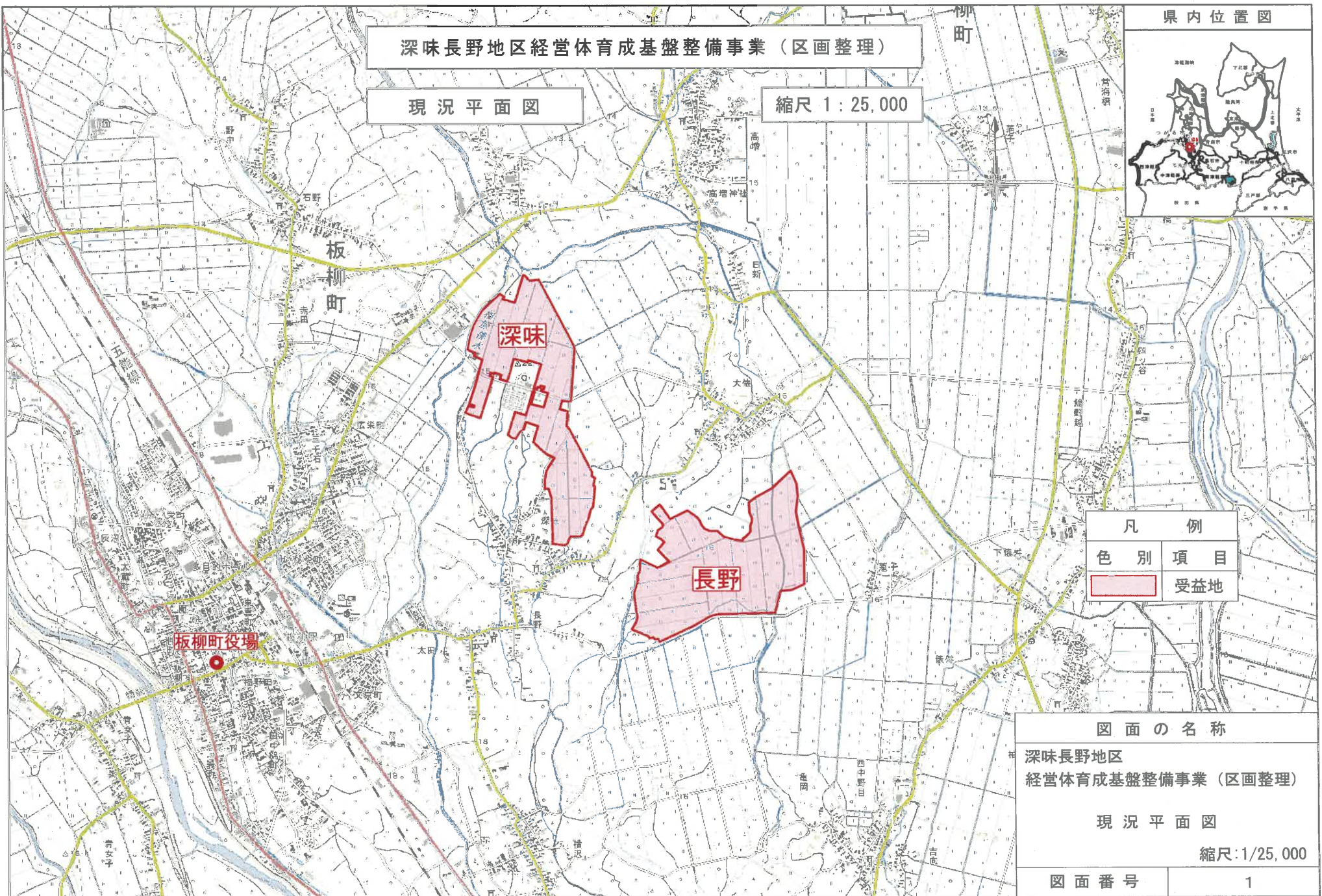
1. 現況平面図……………別 添
2. 計画平面図及び土地利用計画図…………… ”
3. 主要構造図…………… ”

深味長野地区経営体育成基盤整備事業（区画整理）

現況平面図

縮尺 1 : 25,000

県内位置図



凡 例

色 別	項 目
■	受益地

図 面 の 名 称

深味長野地区
経営体育成基盤整備事業（区画整理）

現況平面図

縮尺：1/25,000

図面番号

1

深味長野地区経営体育成基盤整備事業（区画整理）

計画平面図及び土地利用計画図

縮尺 1:5,000



凡	例
記号	事項
—	地区界
—	幹線用水路（国）
—	幹線排水路（国）
—	幹線排水路（県）
—	支線道路
—	支線用水路
—	小用水路
—	支線排水路
—	小排水路
—	制清
—	水田
—	畑
—	暗渠排水

図面の名称

深味長野地区
経営体育成基盤整備事業（区画整理）

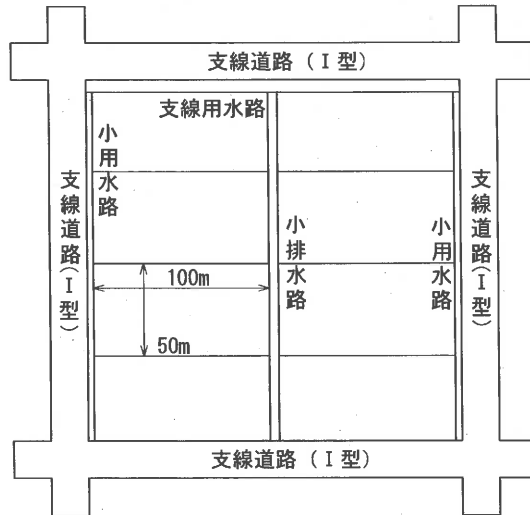
計画平面図及び土地利用計画図

縮尺:1/5,000

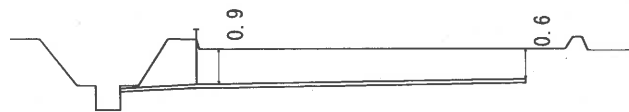
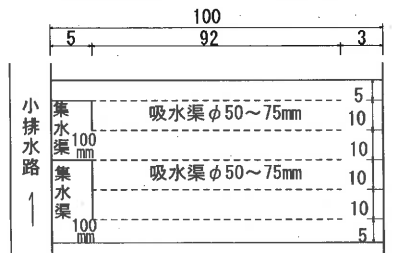
図面番号 2

主要構造図

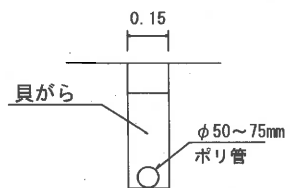
標準区画割図



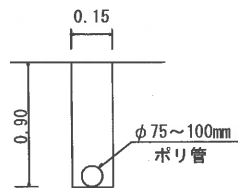
暗渠排水工



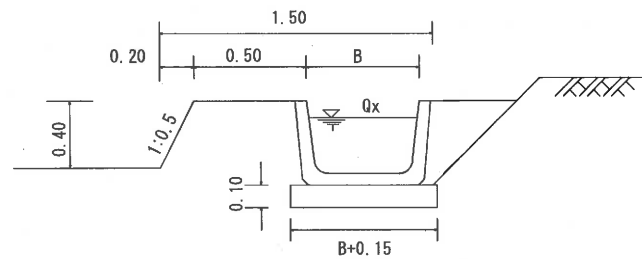
吸水渠



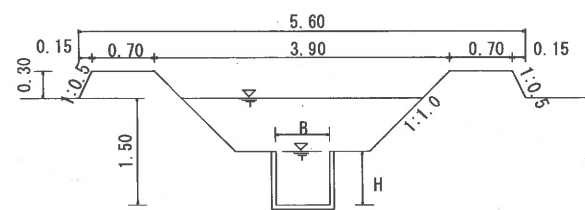
集水渠



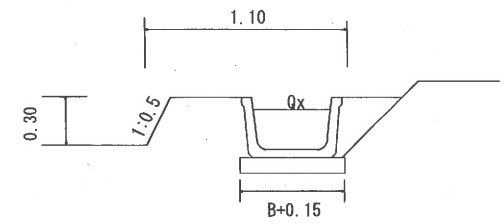
支線用水路



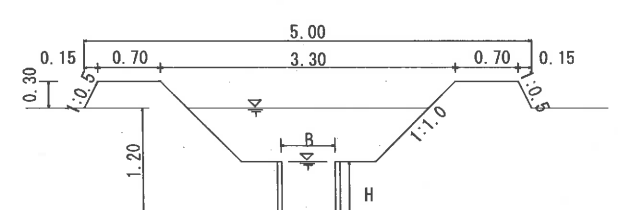
支線排水路



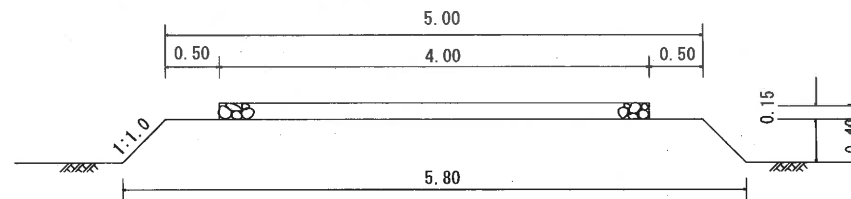
小用水路



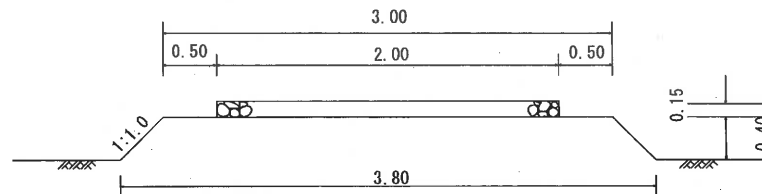
小排水路



支線道路 (I型)



支線道路 (Ⅲ型)



図面の名称

深味長野地区
経営体育成基盤整備事業 (区画整理)

主要構造図

縮尺: Non Scale

図面番号

3

県営深味長野地区土地改良事業計画書

第2回変更

(経営体育成基盤整備事業)

(農業用排水施設整備)

青 森 県

目

次

第 1 章	目 的	1
第 2 章	地 域 及 び 地 積	1
第 1 節	地 域	1
第 2 節	地 積	1
第 3 章	現 況	2
第 1 節	気 象	2
1.	一 般 気 象	2
2.	特 殊 気 象	2
第 2 節	土 地 状 況	3
1.	地形、土壌及び浸食の程度	3
2.	土地利用の状況	4
3.	土地所有の状況	4
第 3 節	水 利 状 況	4
1.	用 水 状 況	4
2.	排 水 状 況	7
3.	河 川 状 況	7
4.	想定被害状況	7
第 4 節	道 路 現 況	7
1.	道 路 概 況	7
2.	主要道路一覧表	7
第 5 節	地 域 農 業 の 概 況	8
1.	産業別就業人口	8
2.	経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数	8
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	8
4.	主要作物作付状況	9
5.	農 業 の 動 向	10
第 6 節	地 域 環 境 の 概 況	10
第 4 章	一 般 計 画	11
第 1 節	事 業 計 画 の 要 旨	11
1.	要 旨	11
2.	事 業 別 面 積	11

第 2 節	営農計画及び土地利用計画	11
1.	営農計画の概要	11
2.	土地利用区分	11
3.	作 付 方 式	12
4.	生 産 計 画	13
5.	労働改善計画	13
第 3 節	用 水 計 画	14
1.	計 画 基 準 年	14
2.	計画かんがい方式	14
3.	計画用水系統	14
4.	計画用水量	14
5.	水 源 計 画	16
第 4 節	排 水 計 画	17
1.	計画基準雨量	17
2.	計画排水方式	17
3.	計画排水系統	17
4.	計画排水量	17
5.	排水対策	17
6.	たん水検討	17
第 5 節	道 路 計 画	17
1.	道 路	17
2.	路線配置図	17
第 6 節	洪水調節計画	17
1.	計画基準雨量	17
2.	計画洪水量及び調節量	17
3.	貯 水 池	17
4.	洪水調節検討	17
5.	管 理 計 画	17
第 7 節	農用地整備計画	18
1.	区 画 整 理	18
2.	暗 渠 排 水	18

3.	客	土	18
4.	農	地	18
第8節	老朽ため池改修計画		18
1.	洪水吐改修計画		18
2.	堤体補強計画		18
3.	取水施設改修計画		18
第5章	主要工事計画		19
第1節	用水施設		19
1.	貯	水	19
2.	頭	首	19
3.	揚	水	19
4.	用	水	19
第2節	排水施設		19
1.	排	水	19
2.	排	水	19
3.	排	水	19
4.	その他排水施設		19
第3節	道	路	19
1.	道路の総括表		19
2.	道路主要構造物		19
第4節	洪水調節施設		20
1.	貯	水	20
2.	頭首工及び導水路		20
第5節	農用地整備施設		20
1.	区	画	20
2.	暗	渠	20
3.	客	土	20
4.	除	礫	20
5.	農	地	20
第6節	老朽ため池改修施設		20
1.	貯	水	20
2.	堤体補強施設		20

第 6 章	附 帯 工 事 計 画	21
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	21
第 8 章	環境との調和への配慮	21
第 9 章	換地計画の概要	22
第 1 節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	22
第 2 節	換 地 区 の 設 定	22
1.	換地区の名称・所在・面積	22
2.	換地区を設定する理由	22
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	22
1.	従前の土地の地積の基準	22
2.	用途別予定地積	22
3.	農用地集団化の方針	22
4.	非農用地換地の方法	22
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	22
1.	評 価 の 方 法	22
2.	清 算 の 方 法	22
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	22
第 6 節	換地処分の時期に関する特則	22
第 1 0 章	事業費の総額及び内訳	23
第 1 1 章	効 用	23
第 1 2 章	関 連 す る 事 業	24
第 1 3 章	現 況 ・ 計 画 図 面	24

第 1 章 目 的

本地区の水利施設は用排水兼用の土水路が大半を占めており、安定的な用水供給や維持管理に多大な労力を要している。

このことから、本事業で支線用水路を整備し、農業用水の安定供給や水管理の効率化を図ることで作物の品質や収益性の向上を図り、施設の維持管理に要する労力を軽減し、持続可能で安定的な農業経営の確立を目指すものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
北津軽郡板柳町

第 2 節 地 積

(令和7年2月現在) (第2表)

現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
板 柳 町	77.8	-	-	-	-	77.8	土地登記簿面積
計	77.8	-	-	-	-	77.8	

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	黒石地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成25年～令和5年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (℃)		19.7	4.0	10.6	
降水量	平均 (mm)	468	587	1,055	
	基準年 (mm)	420	626	1,046	基準年 昭和37年
降水日数	平均 (日)	44	98	142	
	基準年 (日)	60	118	178	基準年 昭和37年
根雪期間		12月18日～3月19日		92 日間	
無霜期間		5月10日～10月11日		155 日間	
最多風向	S	最大風速 (風向)	22 m/s (SW)	最多風向発生時期 10月～5月 最大風速発生年月日 平成28年 4月 17日	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
黒石地域気象観測所	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
観測期間 平成25年～令和5年																
最大日雨量 (mm)	263	S52.08.05	1/889	153	S50.08.05	1/76	136	H25.09.16	1/40	128	S10.08.21	1/30	126	R4.08.09	1/28	
最大時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	310	S10.08.21 ～S10.8.26	1/129	285	S34.08.20 ～S34.11.18	1/84	264	S52.08.05 ～S52.8.6	1/57	247	S33.09.11 ～S33.10.4	1/42	226	H14.08.07 ～H14.8.15	1/28	
最大連続干天日数 (日)	44	S3.07.28 ～S3.9.9	1/60	44	S4.07.03 ～S4.8.15	1/60	44	H1.05.03 ～H1.6.15	1/60	43	H12.05.15 ～H12.6.26	1/49	39	S11.05.07 ～S11.6.14	1/27	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壤及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
	1/1,000	1/1,000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°	3°	8°	15°	20°	計	最 高	最 低	
傾 斜 区 分	未満	1/100	1/20	1/11.5	以上		未満	8°	15°	20°	以上				
面 積 (ha)	-	77.8	-	-	-	77.8	-	-	-	-	-	-	15.7	13.2	
比 率 (%)	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-			

(第4表-1-2)

項 目 土壤統（区）名	土 壤 統（区） 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面								
	色	腐 植 層	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層及びグライ層		
				表 土 層	下 土 層	性 土 層			
				一 層	二 層	三 層			
グライ土壤強粘土構造型	10YR2/1・表土 7.5Y5/2・下層土	含む・表土 含む・下層土	なし	CL	Lic	Lic	全層グライ層又は作土直下グライ層	77.8	E40
計								77.8	

2. 土地利用の状況

(令和7年2月現在) (第4表-2)

土地利用別 市町村名	耕 地							原 野	山 林	そ の 他	計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	畑										
		普 通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)					
板 柳 町	77.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77.8	土地登記簿面積
計	77.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77.8	

3. 土地所有の状況

(令和7年2月現在) (第4表-3)

区 分	所 有 別	個 人 有	共 有	国 有	県 有	市 町 村 有	計	備 考
面 積 (ha)		77.8	0.0	-	-	-	77.8	
受 益 者 数 (人)		81	(1) 1	-	-	-	81	() の数は、個人有と重複
筆 数 (筆)		391	1	-	-	-	392	

第 3 節 水利状況

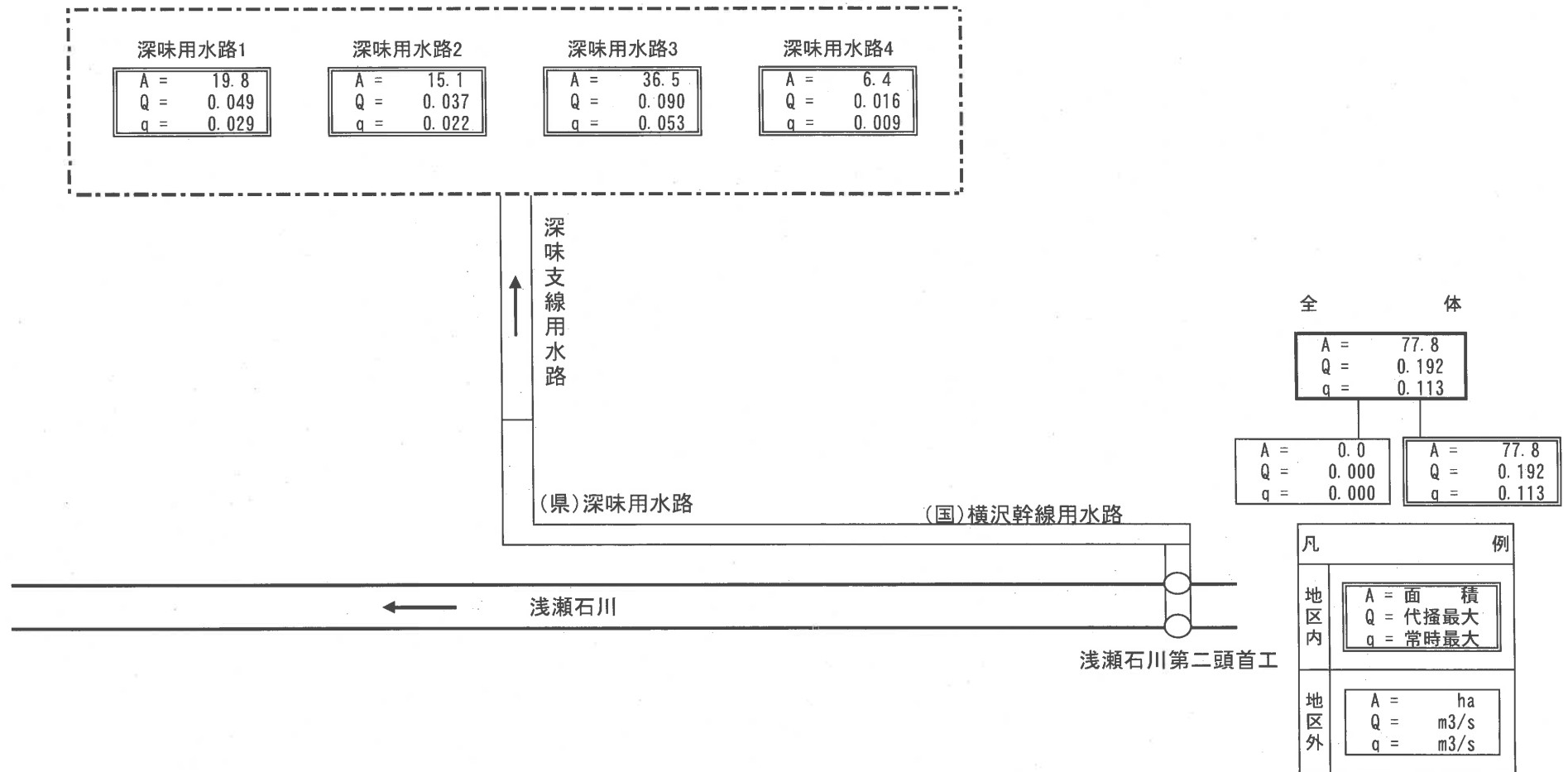
1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川岩木川水系浅瀬石川を取水源とする浅瀬石川第二頭首工から取水している。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 (P. 5 参照)

現況用水系統模式図



(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんが い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延べ取水量	備 考
	500ha 以上		500～100ha		100ha 未満									
	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	h a	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
貯 水 池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
井 堰	—	—	—	—	1	77.8	1	77.8	1	(2.076)	—	—	(2.076)	浅瀬石川第二頭首工 H24.4.25更新
自然取水口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
揚 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	—	—	—	—	1	77.8								() は地区外含む

(イ) 改修を要する施設一覧表

該当なし

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他の被害状況

該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表 該当なし

(イ) 改修を要する施設の一覧表 該当なし

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況 該当なし

(2) 洪水に関する被害状況 該当なし

4. 想定被害状況 該当なし

第 4 節 道路現況

1. 道路概況 該当なし

2. 主要道路一覧表 該当なし

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

総務省統計局＞統計データ＞令和2年度国勢調査

(第7表-1)

項 目	総 数	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運 輸 通信業	卸売小売業・飲食店	金 融 保険業	不動産業	サービス業	公 務	その他	備 考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
板 柳 町	7,156	2,644	4	1	2	529	586	18	242	1,131	74	38	1,632	214	41	
比率 (%)	100.0	36.9	0.1	0.0	0.0	7.4	8.2	0.3	3.4	15.8	1.0	0.5	22.8	3.0	0.6	

2. 経営耕地広狭別農家数及び専業別農家数

2020農林業センサスⅡ農業経営体3経営耕地面積規模別経営体数

2020農林業センサス自給的はV総農家等2耕地(1)経営耕地のある農家数と経営耕地面積

(第7表-2)

区 分 市町村名	農 家 総 戸 数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)						専兼業別農家数(戸)			備 考
		例外規定の適用を受けるもの	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0以上	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草	計	専業	兼業		
			〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	ha									第 一 種	第 二 種	
			0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	以上									業	種	
板柳町	1,108	39	108	242	221	174	157	74	25	11	13	44	0.97	0.05	0.94	1.96	0.00	1.96	570	406	370	販売農家 1346戸
比率 (%)	100.0	3.5	9.7	21.8	19.9	15.7	14.2	6.7	2.3	1.0	1.2	4.0	49.5	2.6	48.0	100.0	0.0	100.0	42.3	30.2	27.5	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

2020年世界農林業センサスⅡ農業経営体

(第7表-3)

市町村名	項 目	動 力 農 機 具 主 要 家 畜												備 考
		トラクター		コンバイン		動力田植機								
		数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	
板 柳 町		716	636	106	99	377	365	-	-					
	100戸当たり数量(台、頭)	65		10		34		-						
	利用戸数割合 (%)	57.4		8.9		32.9		-						

4. 主要作物作付状況

①農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データその他>令和5年(e-Stat)>耕地面積>青森県②作物は農林水産省HPより作付面積の多いものを記載。(第7表-4)

市町村名			板柳町		作付率	備考
総耕地面積 (ha)			3,020			
区分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
作物名						
水田	表作	水稲	1,060	612	69.3	本地面積全体 2,970 ha
	裏作		-	-	-	
	小計		1,060		69.3	
畑	春	大豆	204	93	14.2	田 1,530 ha
		その他作物	1,706	-	118.5	
	夏		-	-	-	畑 1,440 ha
			-	-	-	
			-	-	-	
			-	-	-	
	秋冬作		-	-	-	(畑の中に、樹園地及び牧草地を含む)
			-	-	-	
			-	-	-	
	小計		1,910		132.6	
果樹園	その他果樹		-	-	-	
			-	-	-	
	小計		-		-	
計			2,970		100.0	
市町村別延作付率 (%)			100.0			

5. 農業の動向

2020年世界農林業センサス II 農業経営体、V 販売農家、H22・H27・R2農産物統計（第7表－5）

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農機具名	B	A		
変 化 の 状 況 (C年を100とする指数)	総農家数	88	70	耕地	95	86	水 稻	89	69	乳用牛			トラクター	84		農業振興地域 昭和49年	A: 令和2年
	専業農家数	93		田	95	87	小 麦	-	-	肉用牛	-	-	コンバイン	71			(2020年世界農林業センサス)
	第一種兼業農家数	95		畑	55	170	大 豆	114	166	豚	-		動力田植機	79			B: 平成27年
	第二種兼業農家数	76		樹園地	95	83	その他作物	106	117								(2015年世界農林業センサス)
	農業従事者数	86	66	草 地	-	-											C: 平成22年
理 変 化 の 由	農家数及び農業従事者の減少は他産業への流出による。			耕地の減少は農地転用等による。			水稻の減少は転作奨励による。						農作業の効率向上を図るため機械の大型化及び共同利用が進んでいる。				(2010年世界農林業センサス)

第 6 節 地域環境の概況

本地区及び周辺において保護指定等に係る特に配慮すべき動植物は確認されていない。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本事業で用水施設を整備することにより、安定的な用水供給を確保し、農産物の品質向上、ひいては農業所得の向上を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用 区分 事業目的	水 田 (ha)	畑					計 (ha)	備 考
		普通 畑 (ha)	果樹 園 (ha)	牧草 畑 (ha)	茶 園 (ha)	その 他 (ha)		
用水改良	74.7	—	—	—	—	—	74.7	
計	74.7	—	—	—	—	—	74.7	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、安定的な用水供給を確保し、農業経営の安定化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用 区分	水田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	77.8	0.1	—	—	—	—	77.9	—	—	8.4	86.3	
計 画	74.7	0.2	—	—	—	—	74.9	—	—	11.4	86.3	

3. 作付方式

(第9表-2)

項 目	經 營 類 型	土 地 利 用 区 分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
現 況 計 画	水稲 + 野菜	田																																					
			</																																				

4. 生産計画

(第9表-3)

土地 利用 区分		項 目	作 物 名	作 付 面 積			作 付 率		単位面積当たり収量			生 産 量			同左生産量増減の内訳		備 考
				(ha)			(%)		(kg/10a)			(t)			(t)		
				現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	現 況	計 画	増 減	現 況	計 画	増 減	面積増減	単 位 面 積 当 た り 収 量 増 加	
水 田 普 通 畑	表作	水 稲	45.7	42.5	△3.2	59.7%	57.2%	614	614	0	281	261	△20	△3.2	△20	作付増減	
			-	(42.5)	-	-	-	614	651	37	281	277	△4	-	△4	乾田化Ⅰ	
			-	(42.5)	-	-	-	614	626	12	281	266	△15	-	△15	水管理改良	
		備 蓄 米	25.0	23.2	△1.8	32.6%	31.3%	614	614	0	154	142	△12	△1.8	-	作付増減	
			-	(23.2)	-	-	-	614	651	37	154	151	△3	-	△3	乾田化Ⅰ	
			-	(23.2)	-	-	-	614	626	12	154	145	△9	-	△9	水管理改良	
		飼 料 用 米	1.0	0.0	△1.0	1.3%	0.0%	614	614	0	6	0	△6	△1.0	1	作付増減	
			-	(0.0)	-	-	-	614	651	37	6	0	△6	-	△6	乾田化Ⅰ	
			-	(0.0)	-	-	-	614	626	12	6	0	△6	-	△6	水管理改良	
		に ん に く	4.4	8.0	3.6	5.7%	10.8%	694	985	291	31	79	48	3.6	-	作付増減	
			-	(8.0)	-	-	-	694	985	291	31	79	48	-	48	乾畑化	
	春夏作	え だ ま め	0.5	0.5	-	0.7%	0.7%	156	156	0	1	1	-	0.0	1	作付増減	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		秋冬作	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	果 樹 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
牧 草 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
茶 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
合 計	76.6	74.2	△2.4	100.0%	100.0%										面積は本地面積		

5. 労働改善計画

該当なし

第 3 節 用水計画

1. 計画基準年 昭和37年

2. 計画かんがい方式

水 田 水 稻 湛水かんがい方式 かんがい期間 5月6日 ～ 9月1日 (代かき期間 5月6日 ～ 5月20日)

畑作物 うね間かんがい方式 かんがい期間 5月6日 ～ 9月1日

3. 計画用水系統

計画用水系統模式図 (P. 15 参照)

4. 計画用水量

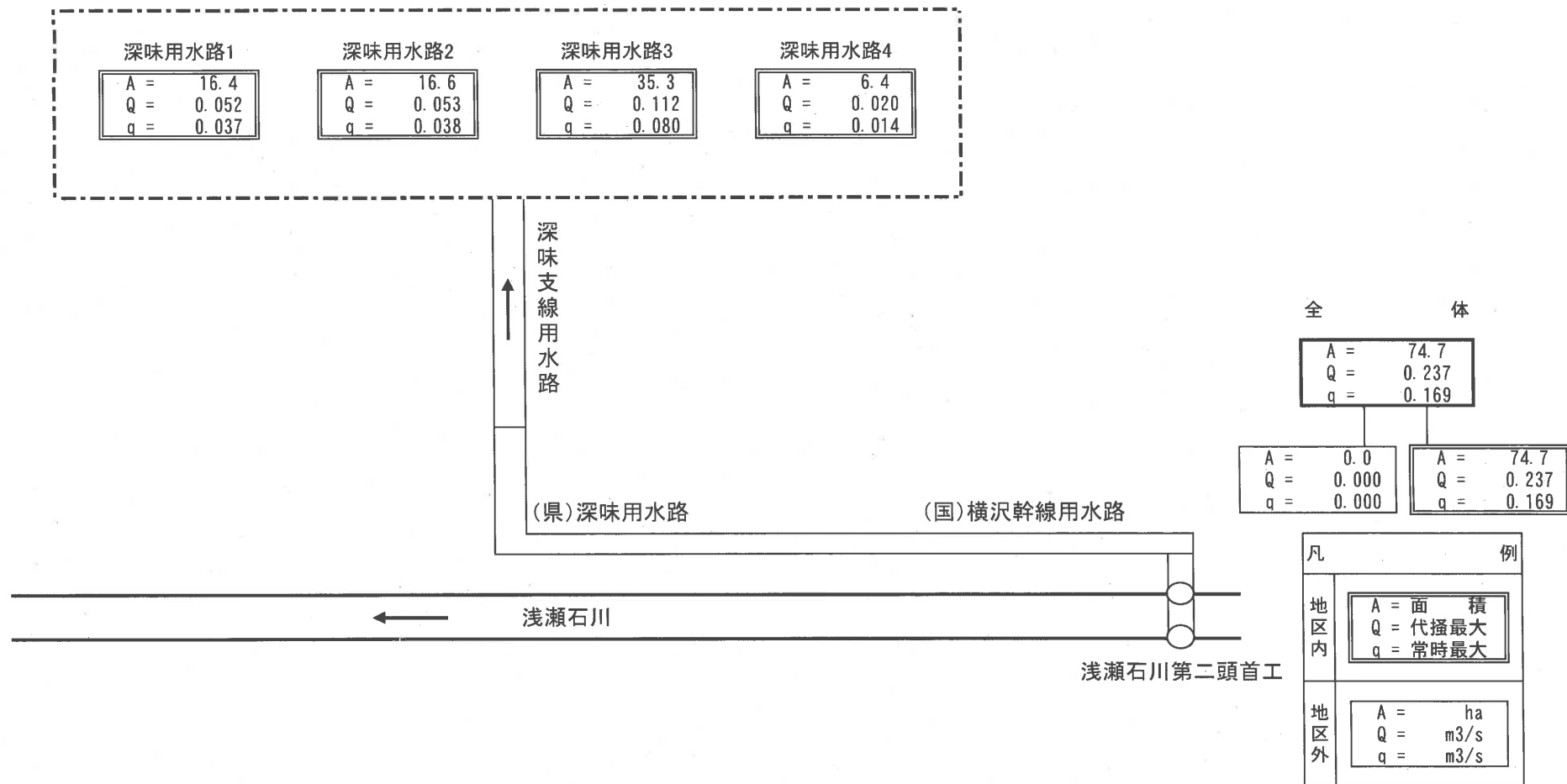
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項 目 系統名	種 別	面 積 (ha)	水田かんがい			水 田 畑 利 用			畑 地 かん がい			そ の 他		消 費 水 量 (m^3/s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考
			普通期	代かき期	面 積 (ha)	一 日 平 均 かん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	一 日 平 均 かん 水 深 (mm/日)	平 均 間 断 日 数 (日)	面 積 (ha)	計 単 位 用 水 量 画 平 均 (mm/日)	面 積 (ha)			平 均 (m^3/s)	最 大 (m^3/s)	
			計 画 平 均 (mm/日)	単 位 用 水 量 (mm/日)														
深味用水 1	農業用水	16.4	16.6	140	14.9	5	5	1.5	5	5	—	—	—	代普 0.051 0.036	15	0.037	0.052	地区内のみ
深味用水 2	農業用水	16.6	16.6	140	15.1	5	5	1.5	5	5	—	—	—	代普 0.052 0.037	15	0.039	0.054	地区内のみ
深味用水 3	農業用水	35.3	16.6	140	32.2	5	5	3.1	5	5	—	—	—	代普 0.111 0.078	15	0.081	0.114	地区内のみ
深味用水 4	農業用水	6.4	16.6	140	5.8	5	5	0.6	5	5	—	—	—	代普 0.020 0.014	15	0.015	0.021	地区内のみ
計		74.7			68.0			6.7			—		—					

(2) 営農飲雑用水 該当なし

計画用水系統模式図



5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
					水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水 量		
	a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)		e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率 α
既水田補水	1,314	-	1,314	1,546	浅瀬石川	1,546	1,314	-	-	-	-	頭首工	α=15%

(2) 用水対策

(ア) 貯 水 池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口 該当なし

(ウ) 揚 水 機 該当なし

(エ) 用 水 路

(第10表-6)

名 称	項 目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
支 線	用 水 路	6.4~35.0	0.111	2,800	コンクリート直壁型	
計		74.7		2,800		

(オ) その他の水源施設 該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第 4 節 排水計画

- | | |
|-----------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画排水方式 | 該当なし |
| 3. 計画排水系統 | 該当なし |
| 4. 計画排水量 | 該当なし |
| 5. 排水対策 | 該当なし |
| 6. たん水検討 | 該当なし |

第 5 節 道路計画

- | | |
|----------|------|
| 1. 道 路 | 該当なし |
| 2. 路線配置図 | 該当なし |

第 6 節 洪水調節計画

- | | |
|---------------|------|
| 1. 計画基準雨量 | 該当なし |
| 2. 計画洪水量及び調節量 | 該当なし |
| 3. 貯水池 | 該当なし |
| 4. 洪水調節検討 | 該当なし |
| 5. 管理計画 | 該当なし |

第 7 節 農用地整備計画

- | | |
|---------|------|
| 1. 区画整理 | 該当なし |
| 2. 暗渠排水 | 該当なし |
| 3. 客 土 | 該当なし |
| 4. 農地保全 | 該当なし |

第 8 節 老朽ため池改修計画

- | | |
|-------------|------|
| 1. 洪水吐改修計画 | 該当なし |
| 2. 堤体補強計画 | 該当なし |
| 3. 取水施設改修計画 | 該当なし |

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 貯 水 池 該当なし
2. 頭 首 工 該当なし
3. 揚 水 機 該当なし
4. 用 水 路

(第15表-4)

項 目 水路名	かんがい 面 積 (ha)	通 水 量 (m^3/s)	延 長 (m)			構 造 勾 配	主 要 構 造 物	備 考
			開 き よ	トンネル そ の 他	計			
支 線 用 水 路	6.4~35.0	0.076~0.110	2,800	-	2,800	コンクリート直壁型	1/1000~1/3000	分水工5か所
計	74.7		2,800	-	2,800			

第 2 節 排水施設

1. 排水水門 該当なし
2. 排 水 機 該当なし
3. 排 水 路 該当なし
4. その他排水施設 該当なし

第 3 節 道 路

1. 道路の総括表 該当なし
2. 道路主要構造物 該当なし

第 4 節 洪水調節施設

- 1. 貯 水 池 該当なし
- 2. 頭首工及び導水路 該当なし

第 5 節 農用地整備施設

- 1. 区画整理 該当なし
- 2. 暗渠排水 該当なし
- 3. 客 土 該当なし
- 4. 除 礫 該当なし
- 5. 農地保全 該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

- 1. 貯 水 池 該当なし
- 2. 堤体補強施設 該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着	手	令和 2 年度
完	了	令和 9 年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、工事中、貴重な動植物を発見した場合は、近くに移動又は移植し保護する。水路内に転落した小動物等が脱出できる環境配慮型水路を設置する。仮設水路を設置しながら水路整備を進めるほか、流末に水槽等を設置して土砂を沈殿させることで濁水の流出を防止する。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方 該当なし

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積 該当なし

2. 換地区を設定する理由 該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準 該当なし

2. 用途別予定地積 該当なし

3. 農用地集団化の方針 該当なし

4. 非農用地換地の方法 該当なし

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 該当なし

2. 清算の方法 該当なし

第 5 節 換地計画樹立の年度計画 該当なし

第 6 節 換地処分の特則に関する特則 該当なし

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 2 表)

区 分		事業費 (千円)	備 考
関連事業 (参考)	工事費	450,000	令和6年度単価
	事務的経費	22,500	
	計	472,500	
	工事費	1,714,000	県営深味長野地区経営体育成基盤整備事業（区画整理）
	事務的経費	85,700	
	計	1,799,700	

第 11 章 効 用

(第 2 3 表)

区 分 \ 項 目	年 総 効 果 額 (千円)	年 増 加 農 業 所 得 額 (千円)	備 考
作物生産効果	62,982	—	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	△ 7,311	—	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	2,204	8,353	食料の安定供給の確保に関する効果
水源かん養効果	11,050	—	多目的機能の発揮に関する効果
国産農産物安定供給効果	11,381	—	その他の効果
計	80,306	8,353	令和6年度単価

<参考>

総 費 用 : 1,691,421 千円
 総 便 益 額 : 2,036,386 千円
 総費用総便益比 : 1.20

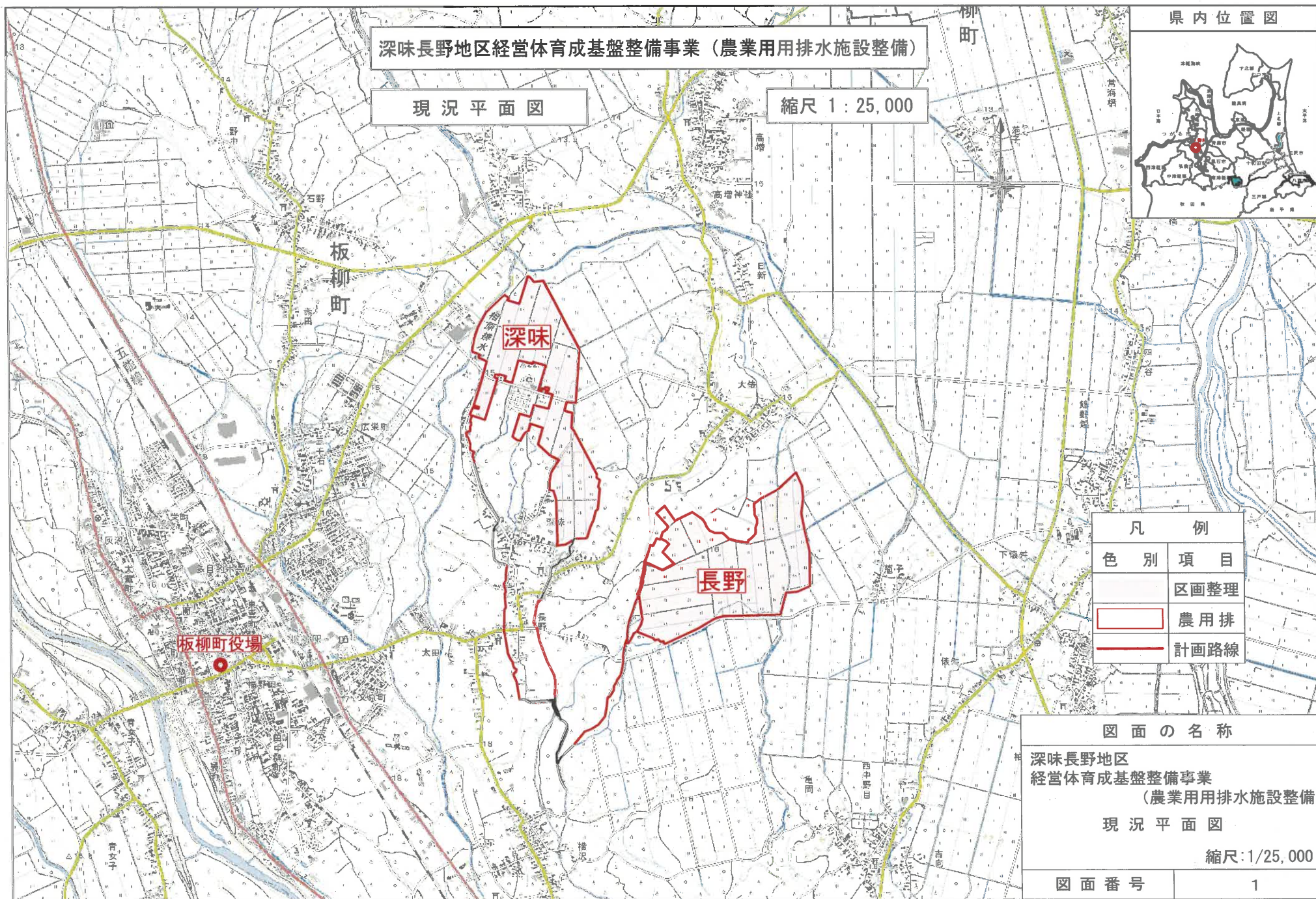
第 12 章 関連する事業

(第 24 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異種	県営経営体育成基盤整備事業 (区 画 整 理)	青森県	74.9	区画整理 L=74.9ha 暗渠排水 L=73.5ha

第 13 章 現況・計画図面

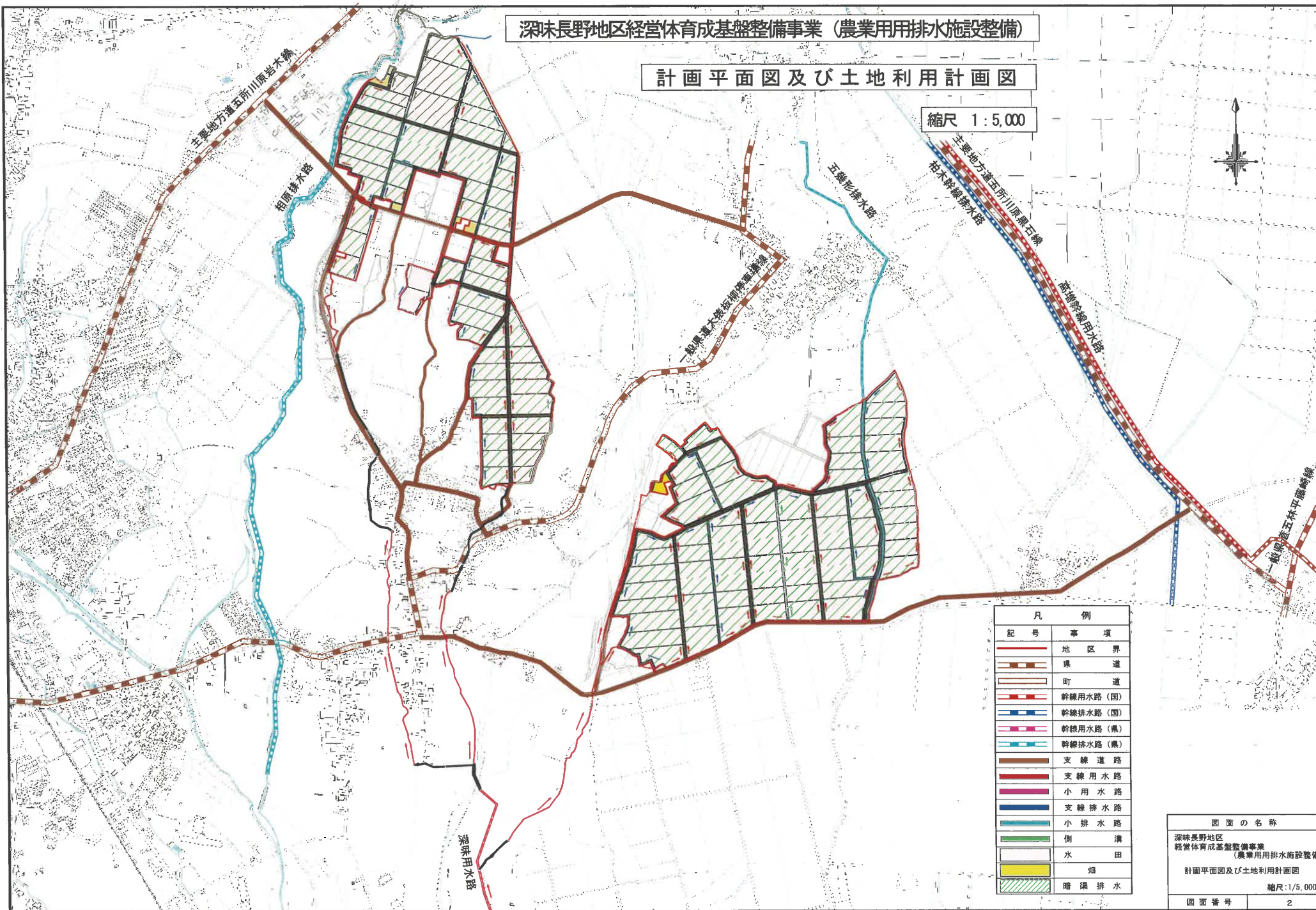
1. 現況平面図…………… 別 添
2. 計画平面図及び土地利用計画図…………… ”
3. 主要構造図…………… ”



深味長野地区経営体育成基盤整備事業（農業用排水施設整備）

計画平面図及び土地利用計画図

縮尺 1:5,000

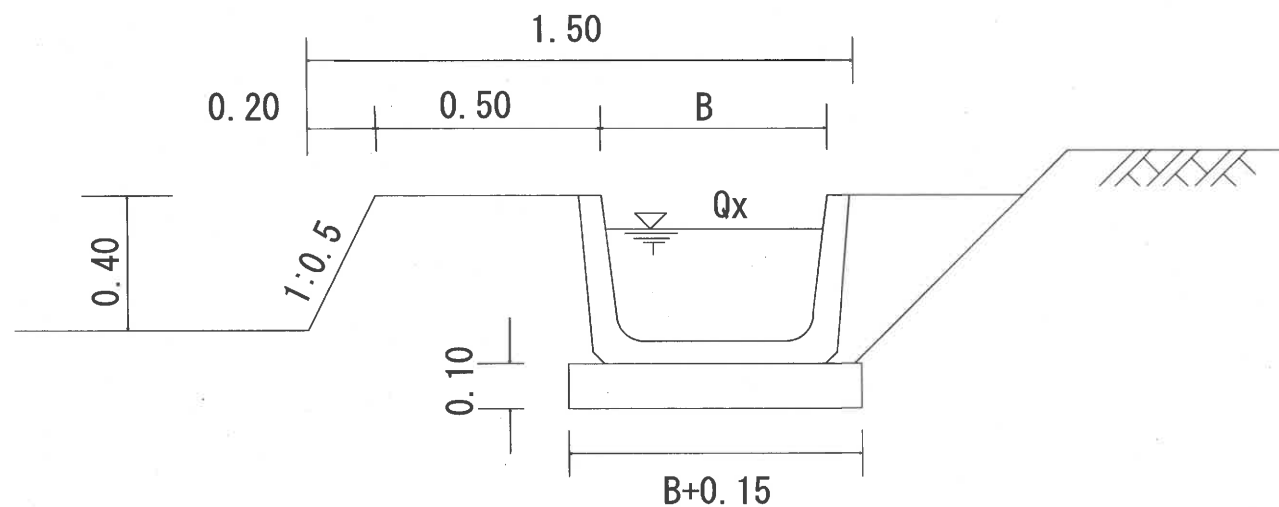


凡 例	
記 号	事 項
	地 区 界
	県 道
	町 道
	幹線用水路（国）
	幹線排水路（国）
	幹線用水路（県）
	幹線排水路（県）
	支 線 道 路
	支 線 用 水 路
	小 用 水 路
	支 線 排 水 路
	小 排 水 路
	側 溝
	水 田
	畑
	暗 渠 排 水

図 面 の 名 称	
深味長野地区 経営体育成基盤整備事業 （農業用排水施設整備）	
計画平面図及び土地利用計画図	
縮尺:1/5,000	
図面番号	2

主要構造図

支線用水路



図面の名称

深味長野地区
経営体育成基盤整備事業
(農業用排水施設整備)

主要構造図
縮尺: Non Scale

図面番号

3